

電気ポットの安全に関するアンケート調査結果

【電気ポットの所有状況について】（プレアンケート）

- 6歳以下の子供をもつ家庭で、主に電気ポットでお湯を沸かしている家庭は17.6%であった。

【電気ポットの使用実態について】

- 6歳以下の自分の子供と同居し、電気ポットをよく使う人1040人にアンケート調査を行ったところ、使用されている電気ポットの種類の大半は、電動給湯方式、1L以上3L未満であった。
- 使用者の7割弱が「常にお湯を入れ保温」して使用している。
- 給湯時に電気ポットが置かれている場所は、「台所の棚・ラック」が49.5%、「台所の調理スペース・流し台」は35.5%であった。また、約2%の人が台所や居室の床に置いていると回答している。
- メーカーがパッキンの定期的な交換を推奨していることを、半数以上が知らなかった。

【「危害」「ヒヤリ・ハット」経験について】

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」の経験は全体の19.8%（206件）であった。「実際にやけどをした（危害）経験」があるのは7.3%（76件）、「やけどはしてないが危ないと思った（ヒヤリ・ハット）経験」があるのが12.5%（130件）であった。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」を経験した年齢は1歳が多く、なかでも1歳0か月から1歳6か月の頃が多くなっている。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」を経験した場所は自宅が81.6%と多いが、祖父母・親戚の家、旅館・ホテルでも、それぞれ、10.2%（21件）、5.8%（12件）の回答があった。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験のあったときの電気ポットの置き場所については、台所の棚・ラック、台所の調理スペース等が多いが、普段置かれている場所の割合と比較すると、テーブルやワゴン、特に床に置かれていたものが多い。
- 「危害」「ヒヤリ・ハット」の経験があったときの状況については、「子供自身が給湯操作した（しそうになった）」28.2%（58件）、「子供自身が電気ポットの蒸気に触れた（しそうになった）」23.3%（48件）、「子供自身が電気ポットのコードをひっかけて転倒した（しそうになった）」12.1%（25件）となっている。
- 「ヒヤリ・ハット」を除く、やけどに至った「危害」の経験（76件）をみると、「給湯操作」の割合が小さくなり、「蒸気に触れた」28.9%（22件）、「コードをひっかけて転倒」23.7%（18件）が多くなっている。
- 原因については、「子供の手が届くと思っていたが、触れないような対策をしていなかった」が31.1%（64件）で最も多く、次いで「置き場所が悪かった」27.7%（57件）、「子供の手が届くと思わなかった」25.7%（53件）が多い。また、半数以上が事後に経験をどこにも報告していなかった。

[給湯操作]

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中では最も多く58件（28.2%）となっている。この58件のうち「ヒヤリ・ハット」は48件（82.8%）、「危害」は10件（17.2%）であり「ヒヤリ・ハット」の割合が大きい。
- 1歳、2歳の順に多く、「操作を見ていた子供が真似して給湯ボタンを押し、少しだけお湯が出た（1歳10か月）」「沸いたときに興味を持ち触ってしまった（1歳6か月）」といっ

た回答が目立つ。

- 58 件のうち、自宅での経験は 48 件であり、これらの場所の詳細については、全回答者全体の普段給湯する場所と比較すると、台所や居室の床(2.2%→8.3%)や、居室のワゴン(2.4%→8.3%)が多くなっており、台所の調理スペース・流し台(35.5%→25.0%)は少なくなっている。

[蒸気に触れる]

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「蒸気に触れる」は「給湯操作」に次いで多く 48 件(23.3%)となっている。この中で実際にやけどに至っているのは 22 件(45.8%)であり、「ヒヤリ・ハット」を除く「危害」では最も多い。
- 1 歳、2 歳の順に多く、「蒸気が気になったようで(3 歳)」、「蒸気に興味を持ち、触れてしまい(9 か月)」のほか、「子供がポットの近くを通過して、誤って触れてしまった(2 歳)」という回答もあった。
- 48 件のうち、自宅での経験は 40 件であり、これらの場所の詳細については、全回答者全体の普段お湯を沸かす場所と比較すると、「台所の床(1.2%→5.0%)」、「居室(洋室)の床(0.9%→7.5%)」「居室(和室)の床(0.2%→7.5%)」の割合が大きくなっている。

[コードをひっかけて転倒・コードをひっぱって転倒]

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「コードをひっかけて転倒」は 25 件(12.1%)、「コードをひっぱって転倒」は 14 件(6.8%)である。「コードをひっかけて転倒」25 件のうち、「入院した」「病院に行った」危害は 10 件あり、「入院した」「病院に行った」危害全体(30 件)の 3 分の 1 を占める。転倒した場合、大量の流水につながる可能性が高く、重度の危害に及ぶと考えられる。
- 2 歳、1 歳の順に多い。行動が活発になり、力も強くなった 2 歳児の方が多くなっていることがうかがわれる。
- 「コードをひっぱって転倒」14 件のうち、自宅で経験が起こった 13 件の場所を確認すると 9 件(69.2%)が「台所の棚・ラック」で起こっている。

[衝突して転倒]

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「衝突して転倒」は 18 件(8.7%)あり、比較的少ないものの、入院に至る経験が含まれている。
- 自宅で経験が起こった場所を確認すると、「衝突して転倒」12 件のうち、11 件(91.2%)が「台所の調理スペース・流し台(4 件(33.3%))」「台所の棚・ラック(6 件(50.0%))」「台所の床(1 件(8.3%))」と台所で起こっている。

[つかまったり触ったりして転倒]

- 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験は 12 件ある。「危害」の経験も 4 件と比較的少ないものの、電気ポットが転倒した際に蓋が開いてお湯がこぼれた経験がみられる。

【電気ポットの安全対策について】

- 電気ポットの危険性については、ぶつかったり、ひっかかたりして転倒させることよりも、子供の興味本位の行動(蒸気に触れそう、ボタンを触りそう、コードをひっぱりそう)に危険を感じている人が多い。
- 事故を防ぐ対策として「置く場所に配慮している」が最も多かったが、何も対策していないと回答した人も 23.6%あった。
- 事故防止に関する情報の入手経路は、テレビ・ラジオ、インターネットのニュースが多い。

1 調査の概要

(1) 調査地域と調査対象者、有効回答数

① プレアンケート

首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県）に在住し、6歳以下の自分の子供と同居する、20歳以上の男女を対象に調査を行った。

有効回答 7,433 件

② 本調査アンケート

プレアンケートで、「普段お湯を沸かす際にもっともよく使う製品は、電気ポット（電動給湯方式、エア給湯方式、兼用式、ハンディ給湯方式）」と回答した方を対象に調査を行った。

有効回答 1,040 件

(2) 調査方法

WEB を利用したインターネットアンケート調査

(3) 調査実施期間

平成 30 年 8 月 28 日（火曜日）から 9 月 3 日（月曜日）まで

2 プレアンケート調査結果

(1) 電気ポットの所有状況

普段お湯を沸かす際にもっともよく使う製品についてたずねたところ、結果は以下のとおりである。「電気ケトル」が 47.0% (3,491 件) と最も多く、次いで「ヤカン（ガスコンロや IH キッキングヒーター）」27.3% (2,031 件)、「電気ポット（ジャーポット）：電動給湯方式」13.3% (986 件) となっている。各給湯方式の電気ポット 4 種類を合計すると、17.6% (1,311 件) であった。

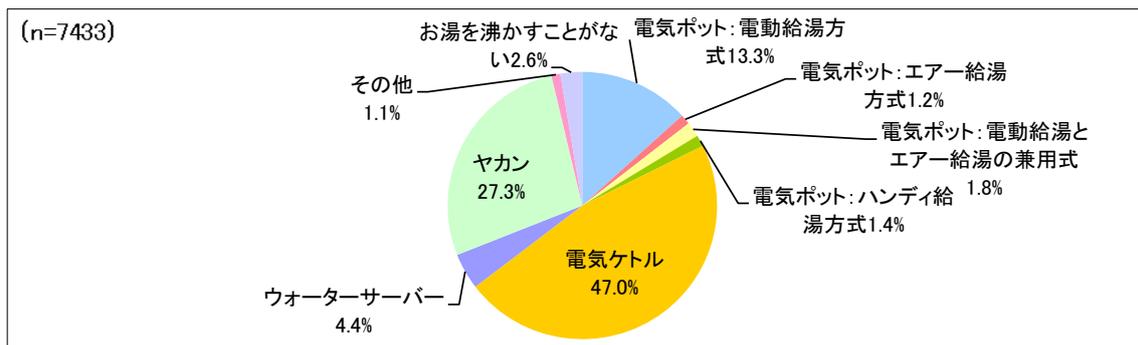


図 1 電気ポットの所有状況(単数回答)SC7

〈選択肢〉

電気ポット（ジャーポット）：電動給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式
電気ポット（ジャーポット）：エア給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式
電気ポット（ジャーポット）：電動給湯とエア給湯の兼用式 湯沸かしと保温機能、
マグネットプラグ式
電気ポット：ハンディ給湯方式 湯沸かしと保温機能、マグネットプラグ式
電気ケトル：本体と給電台に分離できる。給電台と電源コードが分離できないものが多い
ウォーターサーバー
ヤカン（ガスコンロや IH クッキングヒーター）
その他
お湯を沸かすことがない



*集計・分析に関する注釈

- ・回答比率 (%) は、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合がある。
- ・設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- ・図に表記される「n=*」（*は数字）は、対象の母数を表す。
- ・図や表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票の文章とは一致していない場合がある。

3 本調査アンケート結果

プレアンケートで、「普段お湯を沸かす際にもっともよく使う製品は、電気ポット（電動給湯方式、エア－給湯方式、兼用式、ハンディ給湯方式）」と回答した方を対象に調査を行った。

(1) 電気ポットの種類と使用実態

普段お湯を沸かすのに一番よく使っている電気ポットについて質問した結果は以下のとおりである（複数所有の場合は一番よく使う電気ポットについて回答）。

① 電気ポットの給湯方式（お湯の出し方）

給湯方式（お湯の出し方）については、「電動給湯方式」が77.0%（801件）と最も多く、次いで「電動給湯とエア－給湯の兼用方式」が10.2%（106件）、「ハンディ給湯方式」8.0%（83件）、「エア－給湯方式」4.8%（50件）と続いている。

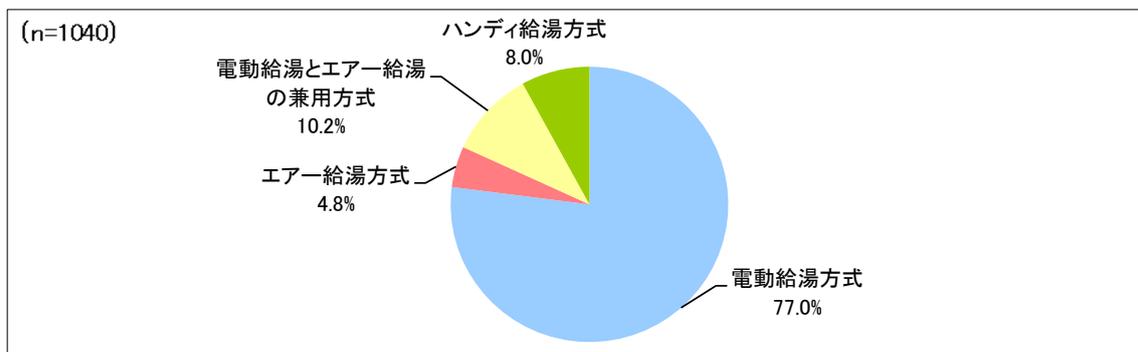


図 2 電気ポットの給湯方式(単数回答)Q1

② 電気ポットの容量

使用している電気ポットの容量については、「2.0 リットル以上 3.0 リットル未満」が39.3%（409件）で最も多く、「1.0 リットル以上 2.0 リットル未満」32.2%（335件）、「3.0 リットル以上 4.0 リットル未満」16.4%（171件）が続いている。

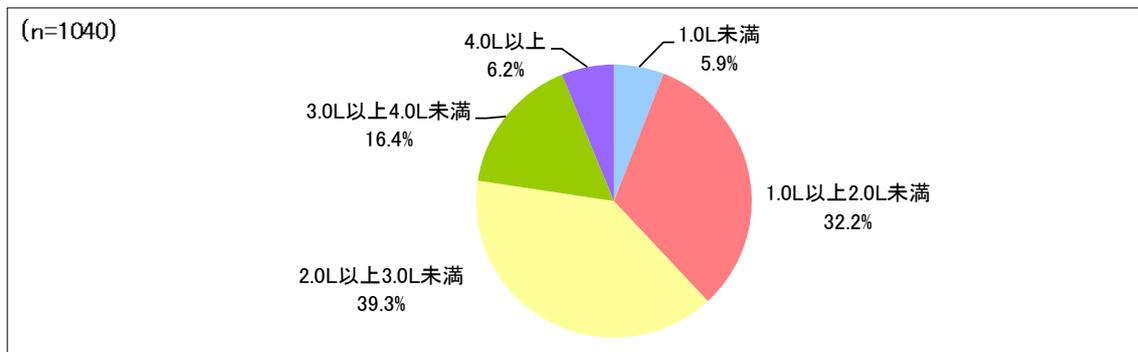


図 3 電気ポットの容量(単数回答)Q2

③ 電気ポットの購入場所

電気ポットの購入場所については、「家電販売店」が 59.1% (615 件) で最も多く、次いで「インターネット通販」12.0% (125 件) となっている。

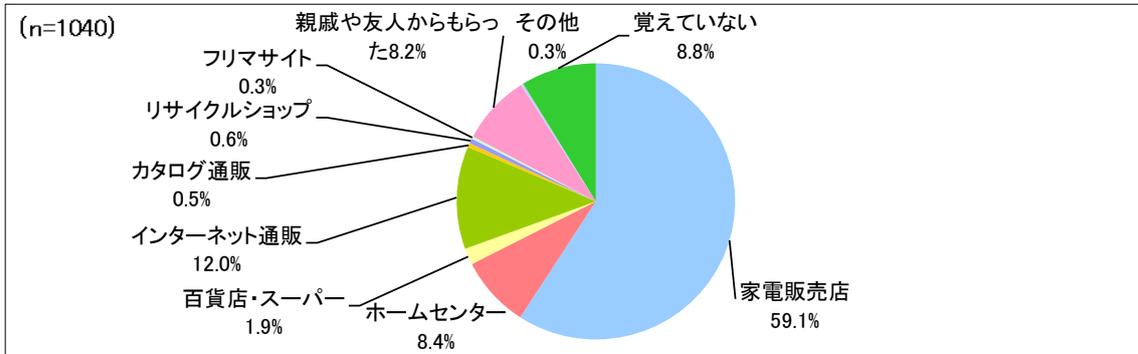


図 4 電気ポットの購入場所(単数回答)Q3

④ 電気ポットは新品か中古品か

前問において、「リサイクルショップ」「フリマサイト」「親戚や友人からもらった」「その他」と回答した方を対象に、使用している電気ポットは新品で購入したか、中古品で購入したかをたずねた結果は以下のとおりである。

「新品」と「もらい物などのため不明」がいずれも 46.4% (45 件) で最も多く、「中古品」は 7.2% (7 件) であった。

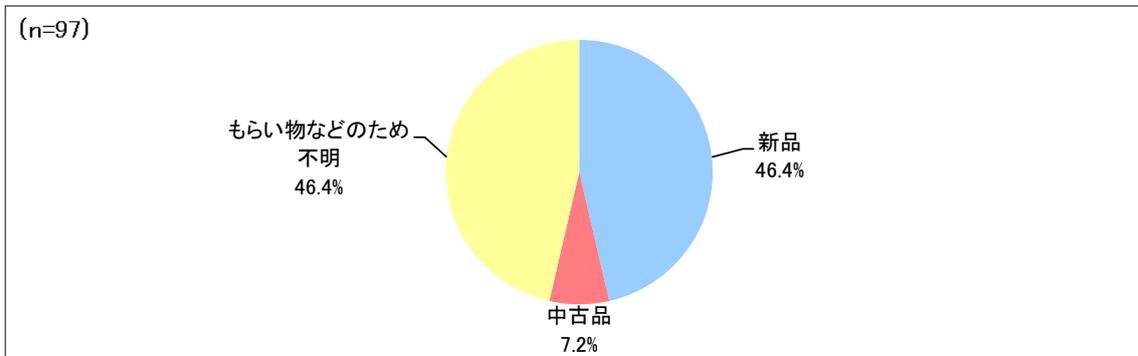


図 5 新品か中古品か(単数回答)Q4

⑤ 電気ポットの購入の際の選択理由

購入の際にその電気ポットを選択した理由を3つまで聞いたところ、「価格」が52.6% (547件) で最も多く、次いで「容量」31.2% (324件)、「メーカー、ブランド」27.0% (281件)であった。

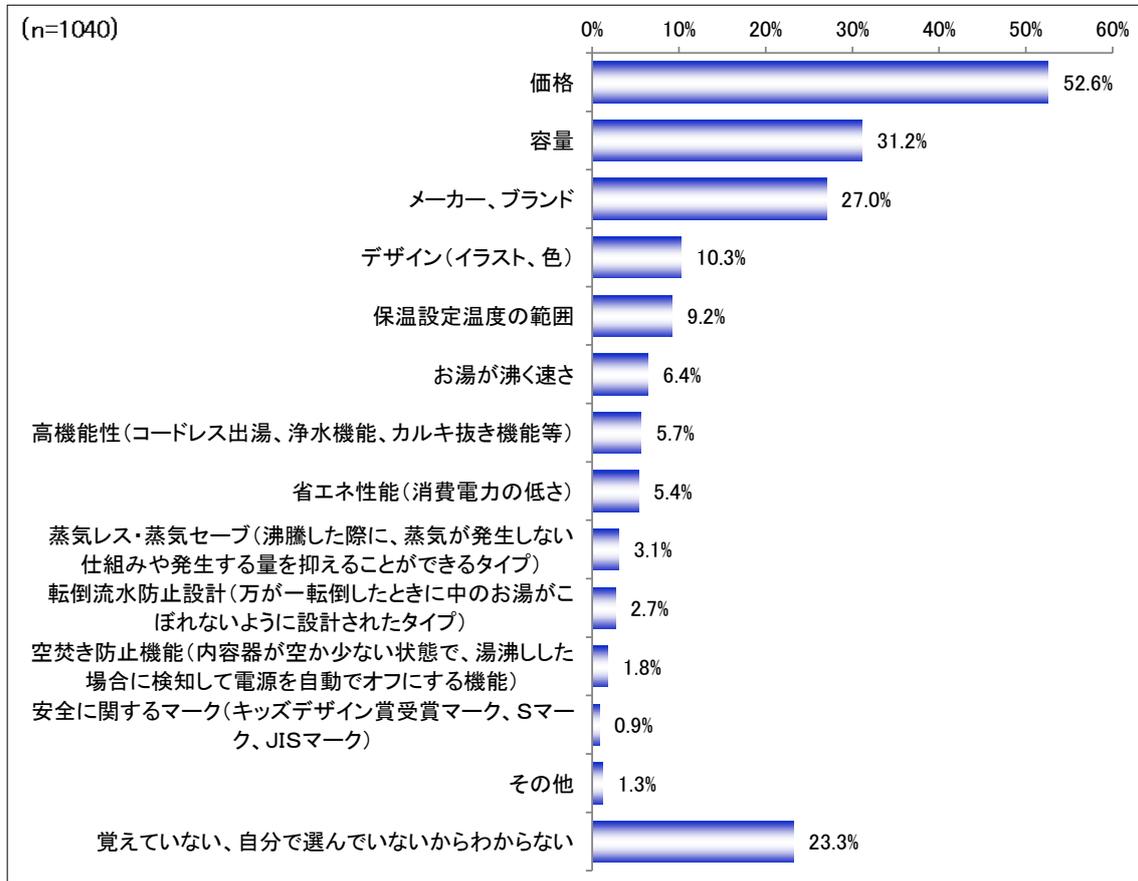


図 6 購入時の選択理由(3つまで)Q5

⑥ 電気ポットの使用目的

電気ポットの使用目的については、「お茶やコーヒーをつくる」が86.3% (897件) で最も多く、次いで「調乳(ミルクをつくる)」29.2% (304件)、「そのままお湯を飲む」26.2% (272件)であった。

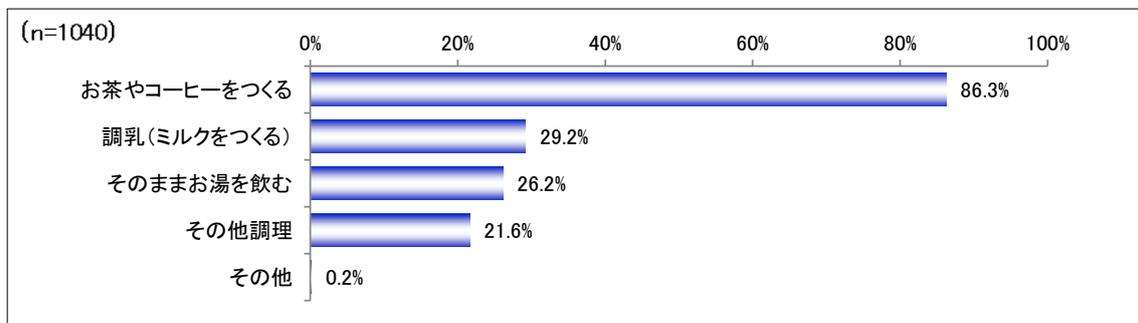


図 7 電気ポットの使用目的(複数回答)Q6

⑦ 電気ポットに水以外のものを入れたことがあるか

電気ポットに水以外のものを入れたり、沸かししたりしたことがあるか聞いたところ、「いいえ」が 88.4% (919 件)、「はい」が 11.6% (121 件) であった。

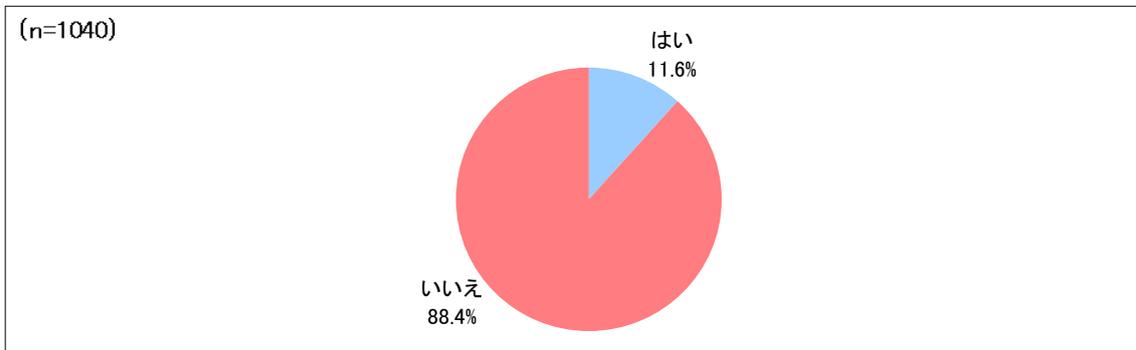


図 8 電気ポットに水以外のものを入れたことがあるか(単数回答)Q7

⑧ 電気ポットの使用方法及び使用頻度

(ア) 電気ポットの使用方法及び使用頻度

電気ポットの使用方法及び使用頻度については、「常にお湯を入れ保温している」が 68.4% (711 件)、「必要な量だけ沸かして、その都度使い切る」が 31.6% (329 件) であった。

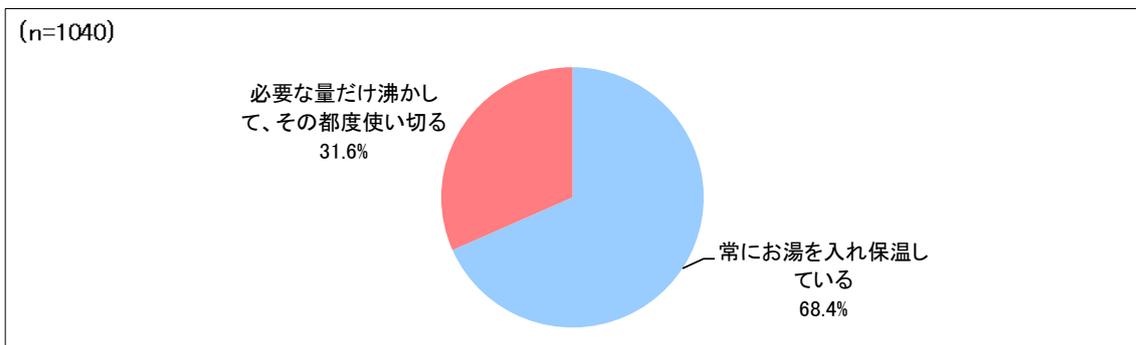


図 9 電気ポットの使用方法及び使用頻度(単数回答)Q8

(イ) 給水の頻度(「常にお湯を入れて保温している」場合)

前問で「常にお湯を入れ保温している」と回答した人に、給水(電気ポットに水またはお湯を入れる)の頻度について聞いたところ、「1日1回」が47.3%(336件)、「毎日を使用していない」が29.4%(209件)、「1日2回」が13.1%(93件)であった。

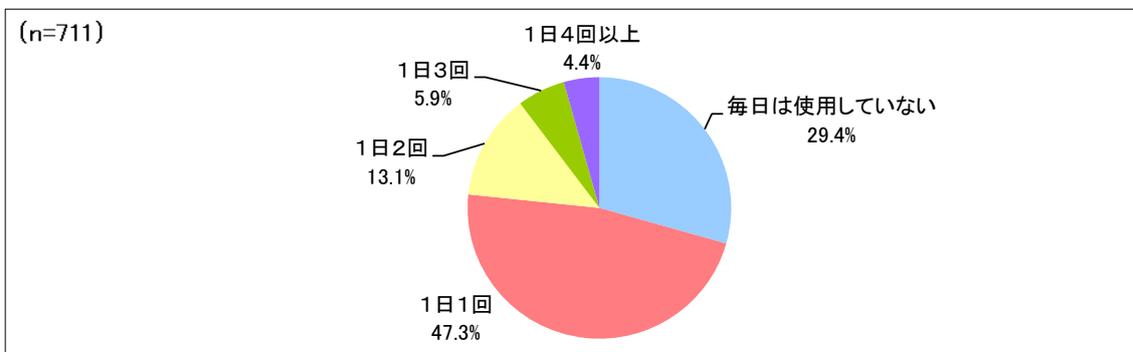


図 10 給水の頻度(常に保温)(単数回答)Q8_1_1

(ウ) 電気ポットのお湯を使う頻度(「常にお湯を入れて保温している」場合)

同様に「常にお湯を入れ保温している」と回答した人に、使用する日では、どのくらいの頻度で電気ポットのお湯を使うか聞いたところ、「1日4回以上」が33.1%(235件)、「1日1回」が30.5%(217件)、「1日2回」が20.1%(143件)であった。

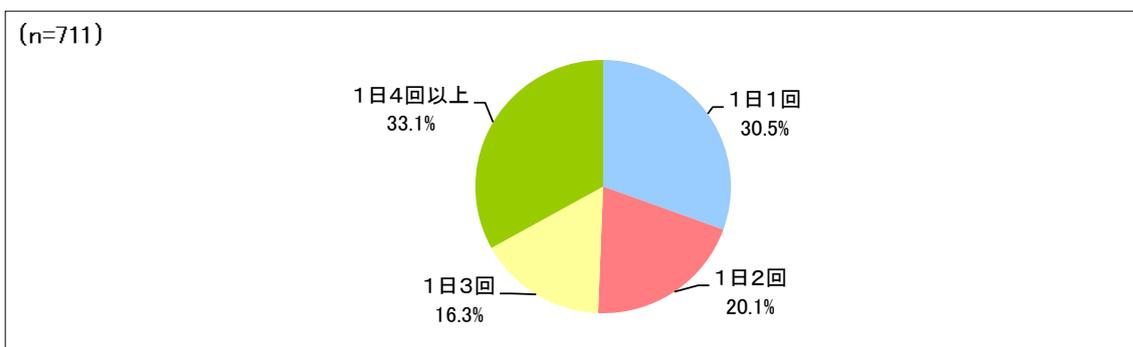


図 11 お湯を使う頻度(常に保温)(単数回答)Q8_1_2

(I) 電気ポットのお湯を使う頻度(「その都度使い切る」場合)

前問で「必要な量だけ沸かして、その都度使い切る」と回答した人に、電気ポットのお湯を使う頻度を聞いたところ、「毎日使用していない」が45.9% (151件)、「1日1回」が28.6% (94件)、「1日2回」が14.3% (47件)であった。

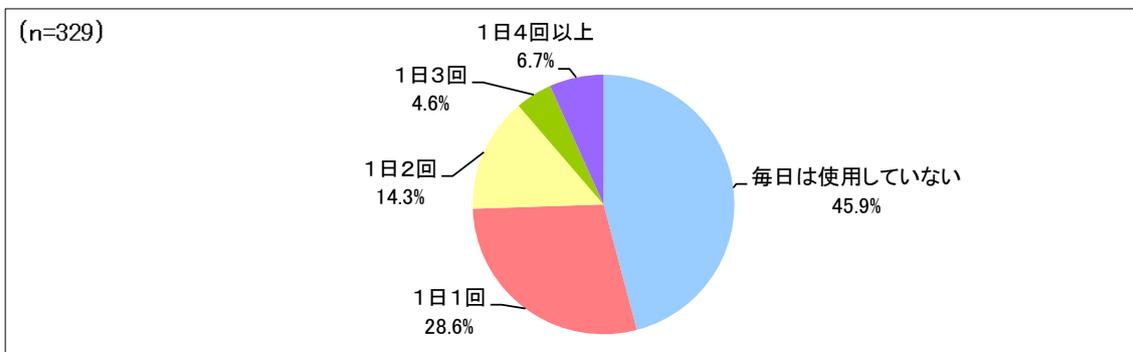


図 12 お湯を使う頻度(その都度使い切る)(単数回答)Q8_2

⑨ 電気ポットの使用場所(置き場所)

(ア) 電気ポットのお湯を沸かす場所

お湯を沸かすときに電気ポットを置いている場所は、「台所の棚、ラック」が53.5% (556件)、「台所の調理スペース・流し台」が31.8% (331件)、「居室(洋室のテーブル)」が4.4% (46件)であった。

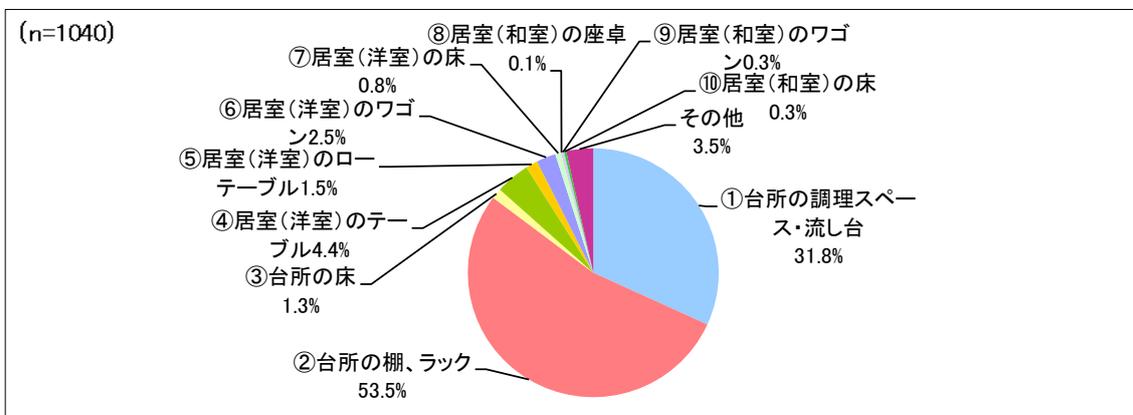


図 13 お湯を沸かす場所(単数回答)Q9_1

(イ) 給湯する場所(お湯を使う場所)

給湯するときに置いている場所は、「台所の棚、ラック」が 49.5% (515 件)、「台所の調理スペース・流し台」が 35.5% (369 件)、「居室(洋室のテーブル)」が 4.8% (50 件)であった。また、約 2%の人が台所や居室の床に置いていると回答している。沸かす場所と同一の回答をした人は全体の 92.0% (957 件)であり、ほとんどの人が場所を移動させずに使用している。移動させて使用している人の約半数(全体の 3.8%、40 件)は「台所の棚・ラック」で沸かし、「調理スペース・流し台」で給湯を行っている。

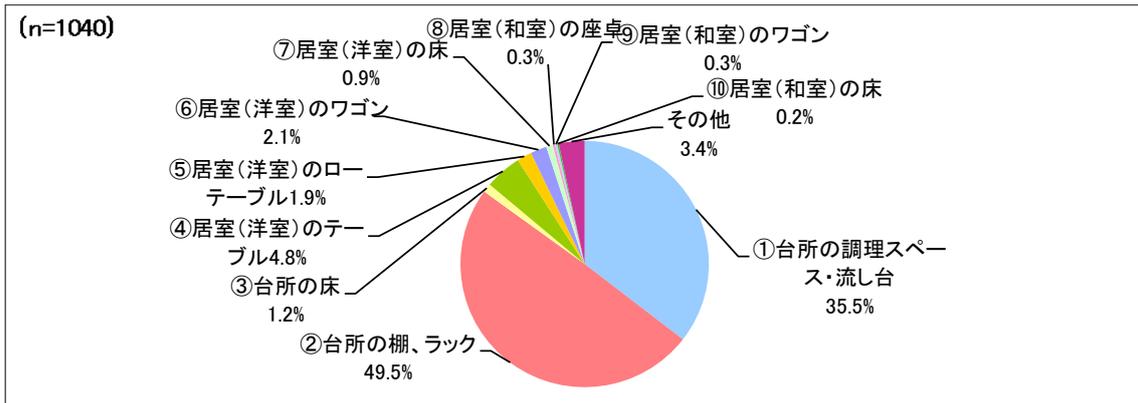


図 14 給湯する場所(単数回答) Q9.2

(ウ) 電気ポットの使用方法別、給湯する場所

給湯する場所を電気ポットの使用方法ごとにとみると、「常にお湯を入れ保温している」では「台所の棚、ラック」が 55.3% (393 件)で最も多いが、「必要な量だけ沸かして、その都度使い切る」では「台所の調理スペース・流し台」が 45.6% (150 件)で最も多くなっている。

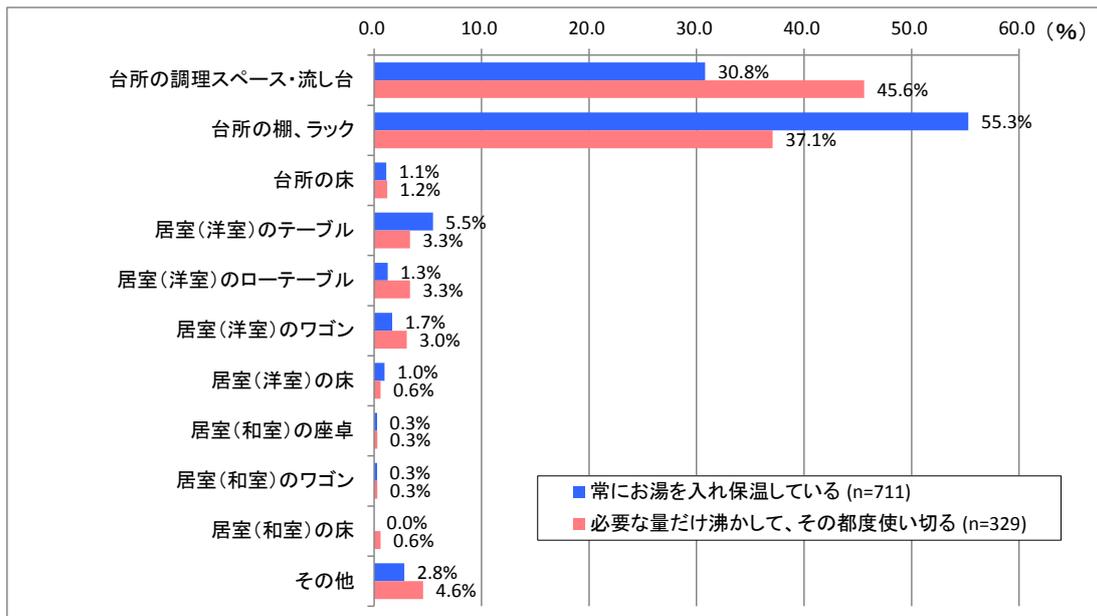


図 15 電気ポットの使用方法別、給湯する場所(単数回答) Q9XQ8

⑩ 電気ポットの使用年数

現在使用している電気ポットの使用年数については、「1年以上3年未満」が31.1%（323件）、「3年以上5年未満」が28.4%（295件）、「5年以上10年未満」が21.8%（227件）であった。

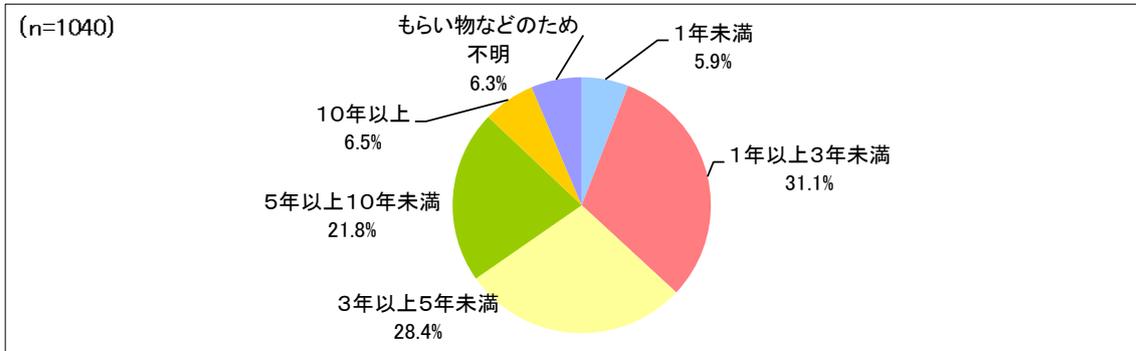


図 16 電気ポットの使用年数(単数回答)Q10

⑪ 電気ポットの内蓋パッキンの交換について

メーカーでは内蓋パッキンについて定期的に確認し、損傷していたら交換することを推奨しているが、このことを知っていたか、また、使用中の電気ポットについて、パッキンを交換したことがあるか聞いた結果は以下のとおりである。

「知らなかった」が57.5%（598件）、次いで「知っているが、まだその時期が来ていないため、交換していない」20.2%（210件）、「知っているが、めんどうなので交換していない」10.9%（113件）となっている。

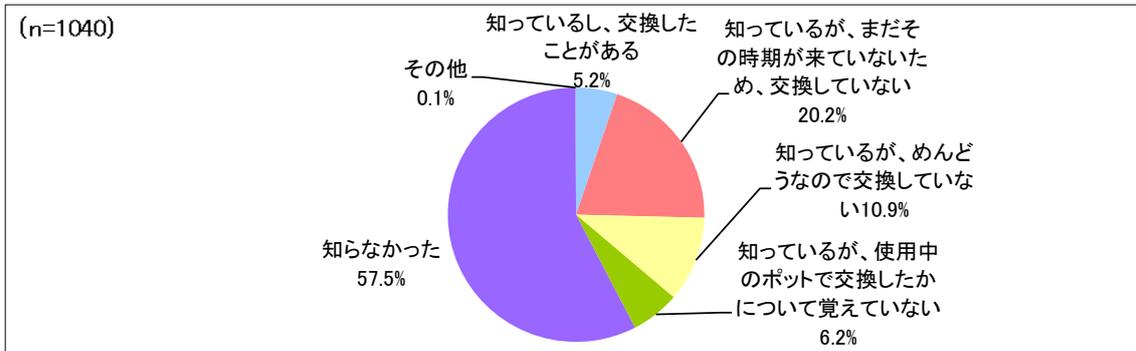


図 17 電気ポットの内蓋パッキンの交換について(単数回答)Q11

(2) 電気ポットによる「危害」「ヒヤリ・ハット」経験について

今までに、子供が電気ポットによるやけどをした、またはしそうな経験について質問した結果は以下のとおりである。

① 電気ポットによる「危害」「ヒヤリ・ハット」経験

電気ポットによるやけどでの「危害」「ヒヤリ・ハット」¹経験については、全体の19.8% (206件) が何らかの経験をしており、その内訳は表1のとおりである。

本項目は、「危害」「ヒヤリ・ハット」経験のあった206人に、その内容について聞いた結果をまとめた。

表1 電気ポットによるやけどでの「危害」「ヒヤリ・ハット」経験 Q13

やけどをして入院した【危害①】	8件	0.8%
やけどをして病院へ行った【危害②】	22件	2.1%
やけどはしたが病院へは行かなかった【危害③】	46件	4.4%
危ないと思ったが、やけどまではしなかった【ヒヤリ・ハット】	130件	12.5%
その他	0件	0.0%
小計	206件	19.8%
特にない	834件	80.2%
計	1,040件	100.0%

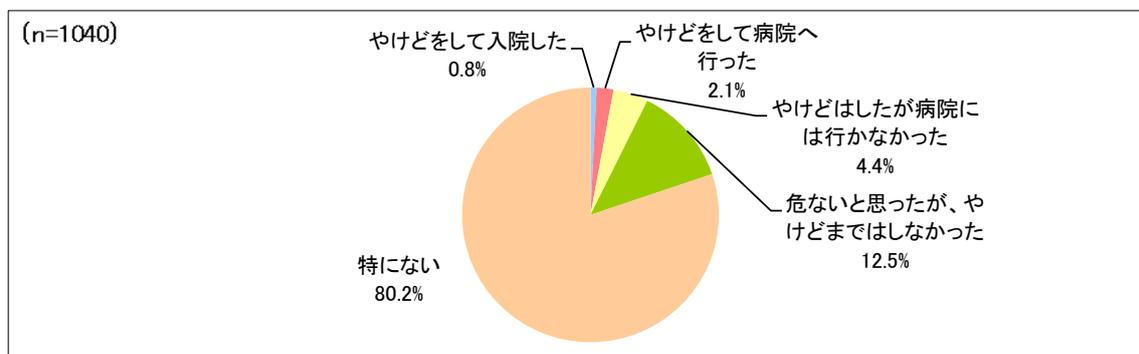


図18 電気ポットによるやけどでの「危害」「ヒヤリ・ハット」経験(単数回答) Q12

¹ 第1回協議会の「(資料2) 子供の電気ポットに関する事故事例等」では、「転倒するなどして、お湯がこぼれたが、やけどはしなかった経験を「危険」経験」と分類したが、本アンケートでは、「転倒するなどして、お湯がこぼれたが、やけどはしなかった」経験についても「ヒヤリ・ハット」経験に含めている。このため「危険」の分類はない。

② 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの子供の年齢

やけどをした、しそうになったときの子供の年齢については、「1歳」35.9% (74件) が最も多く、次いで「2歳」25.2% (52件)、「3歳」14.6% (30件) となっている。0歳、1歳については月齢まで聞いており、1歳から1歳6か月までが特に多いことがわかる。

実際にやけどをした子供の年齢についてみても、「1歳」31.6% (24件) が最も多く、次いで「2歳」21.1% (16件)、「3歳」19.7% (15件) が多い。

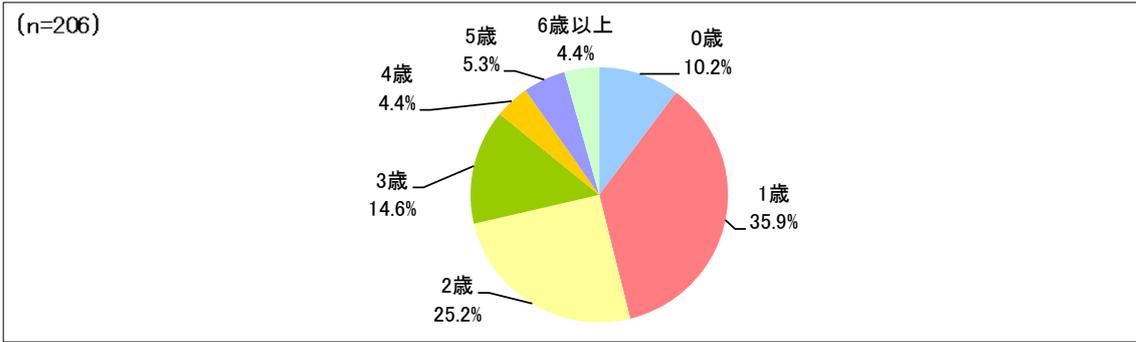


図 19 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの子供の年齢(単数回答) Q13

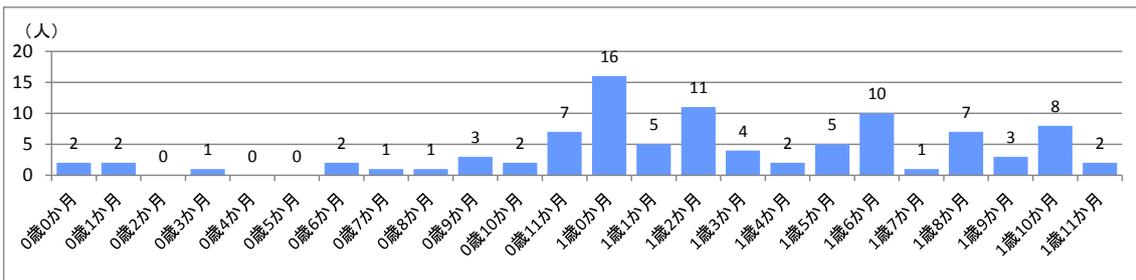


図 20 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの子供の月齢(0歳～1歳) (単数回答) Q13

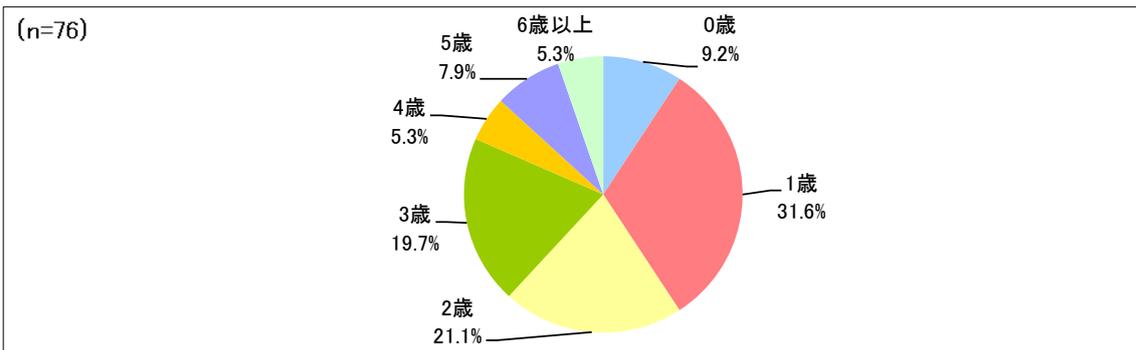


図 21 「危害」経験が起きたときの子供の年齢(単数回答) Q13XQ12

③ 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた場所

やけどをした、しそうになった場所については、「自宅」81.6% (168件)、「祖父母・親戚の家」10.2% (21件)、「旅館やホテル」5.8% (12件) となっている。

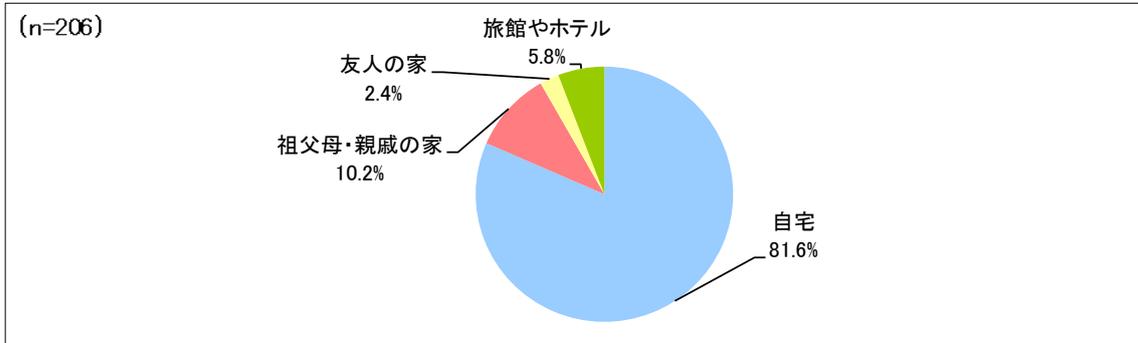


図 22 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた場所(単数回答)Q14

④ 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの電気ポットの置き場所

(ア) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの電気ポットの置き場所

やけどをした、しそうになったときの電気ポットの置き場所については、「台所の棚、ラック」39.3% (81件)、「台所の調理スペース・流し台」24.8% (51件)、「居室(洋室)のテーブル」9.2% (19件) となっている。

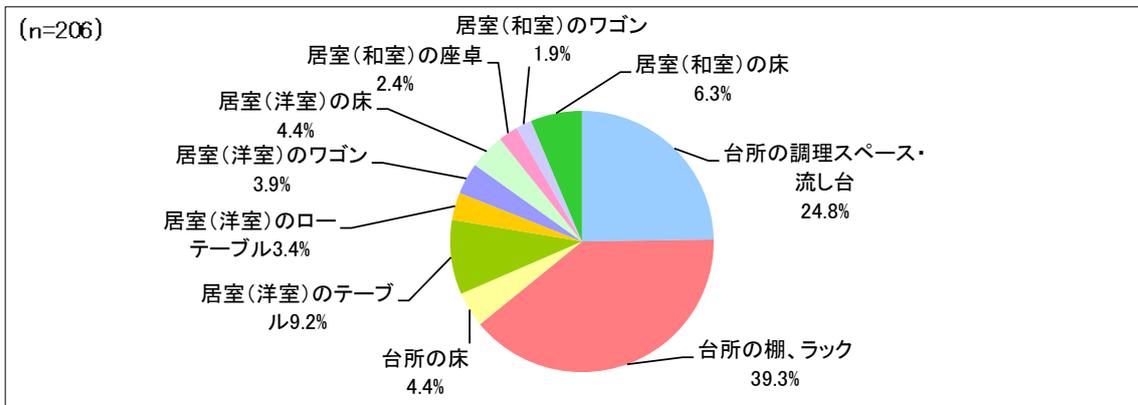


図 23 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの電気ポットの置き場所(単数回答)Q15

(イ) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験場所別、電気ポットの置き場所

やけどをした、しそうになった場所ごとに、電気ポットの置き場所をみると、「自宅」では「台所の棚、ラック」と「台所の調理スペース・流し台」が多いが、「祖父母・親戚の家」「友人の家」では「居室(洋室)のテーブル」が、「旅館やホテル」では「居室(和室)の床」が多くなっている。

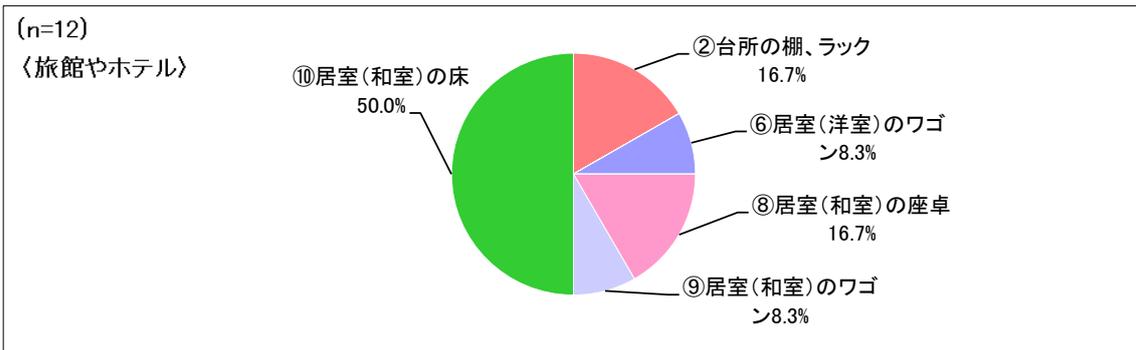
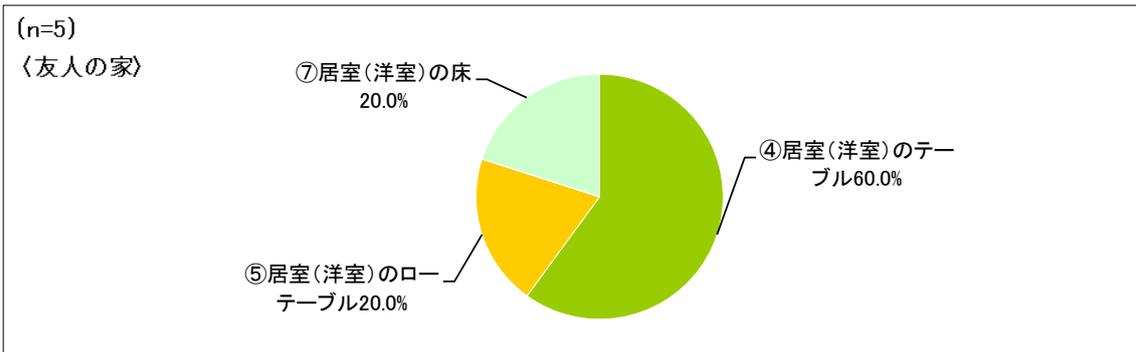
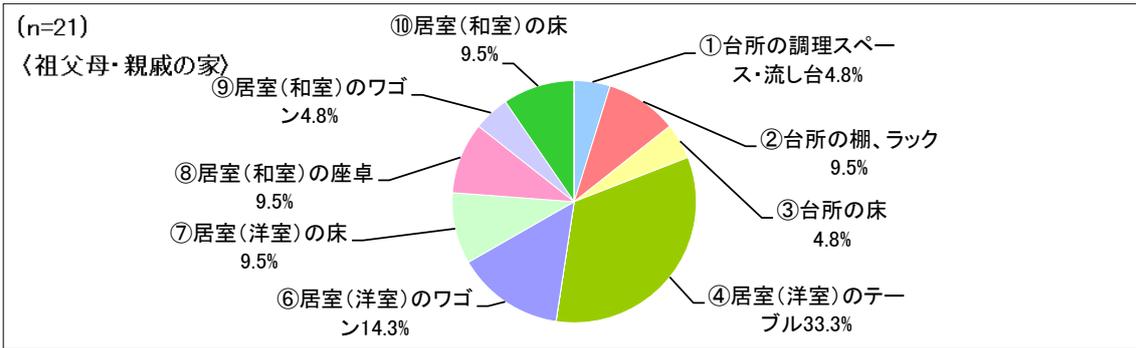
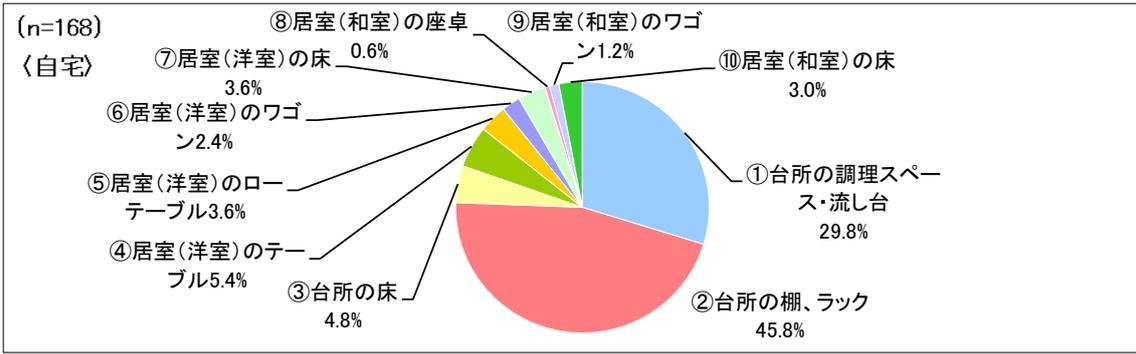


図 24 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験場所別、電気ポットの置き場所(単数回答) Q15XQ14

⑤ 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の状況

(ア) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の状況

a. 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の状況

やけどをした、しそうになったときの状況については、「子供自身が給湯操作した（しそうになった）」28.2%（58件）、「子供自身が電気ポットの蒸気に触れた（しそうになった）」23.3%（48件）、「子供自身が電気ポットのコードをひっかけて転倒した（しそうになった）」12.1%（25件）となっている。

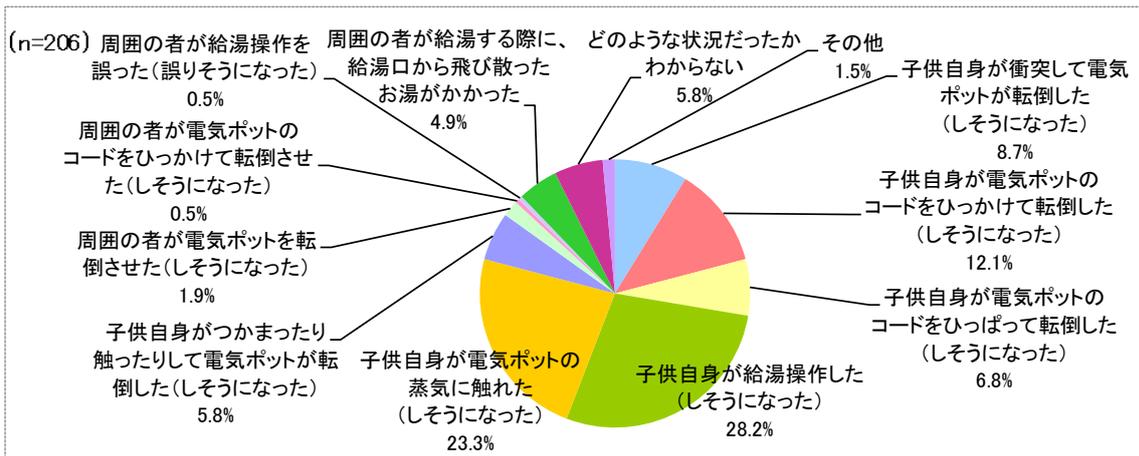


図 25 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた状況(単数回答) Q16

b. 「危害」経験の状況

「ヒヤリ・ハット」を除き、実際にやけどをした 76 件について内訳をみると、「子供自身が給湯操作した」の割合が小さくなり、「子供自身が電気ポットの蒸気に触れた」28.9%（22件）「子供自身が電気ポットのコードをひっかけて転倒した」23.7%（18件）が多くなっている。

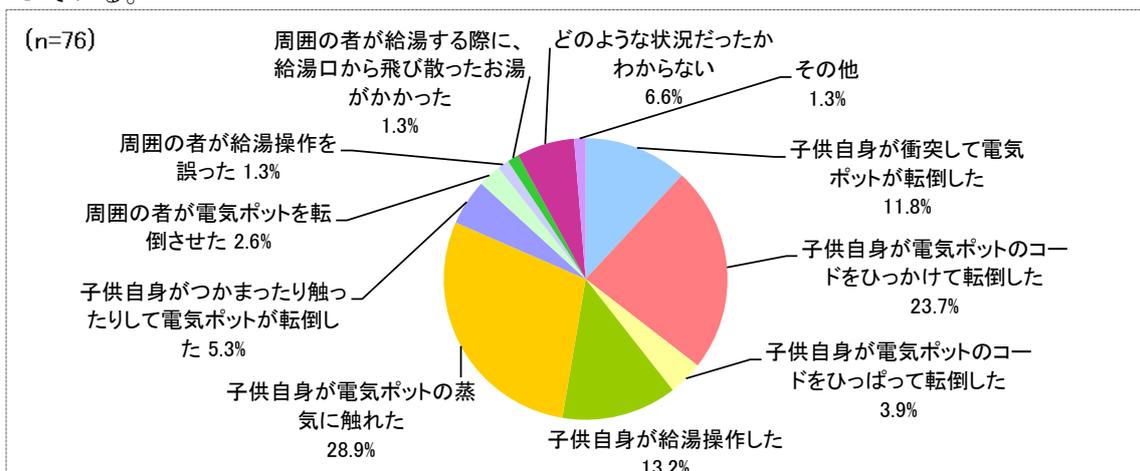


図 26 「危害」経験が起きた状況(単数回答) Q16XQ12

(イ) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の状況と年齢

やけどをした、しそうになったときの状況について、子供の行動が原因となっているものについて、それぞれの年齢分布は以下のようになっている。「子供自身が衝突して電気ポットが転倒した（しそうになった）」「子供自身がかまったり触ったりして電気ポットを転倒した（しそうになった）」は0歳、1歳が多く、他の状況は、1～2歳が多い。

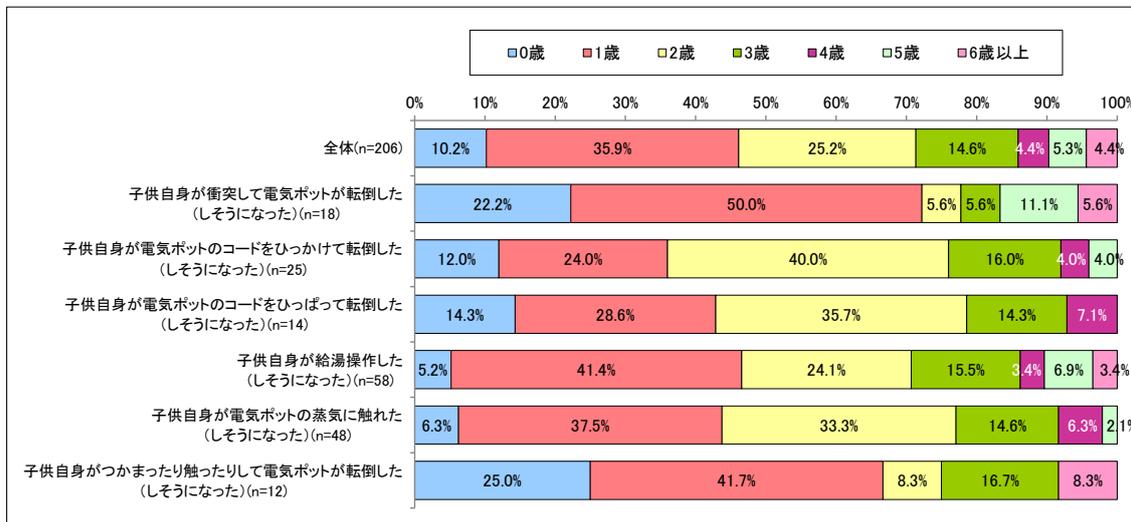


図 27 経験年齢別、「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた状況(単数回答) Q13XQ16

(ウ) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験のときにお湯がこぼれたり出たりしたか

そのときにお湯がこぼれたり、出たりしたか聞いたところ、「いいえ」が 56.6% (77 件)、「はい」が 43.3% (59 件)、であった。

(前問で「子供自身が電気ポットの蒸気に触れた（しそうになった）」「周囲の者が給湯操作を誤った（誤りそうになった）」「周囲の者が給湯する際に、給湯口から飛び散ったお湯がかかった」の回答者を除いた 136 件に対して質問している。)

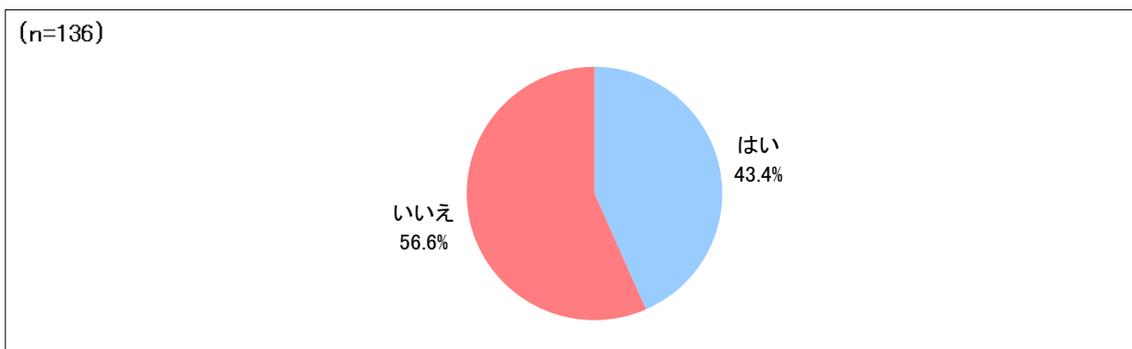


図 28 お湯がこぼれたり出たりしたか(単数回答) Q17

⑥ 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の原因となった電気ポットについて

(ア) 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の原因となった電気ポットは「一番よく使う電気ポット」か

自宅で、やけどをした、しそうになった人に、経験の原因となった電気ポットは、今まで回答してきた「一番よく使う電気ポット」であるか尋ねたところ、「はい」82.1% (138件)、「いいえ」17.9% (30件)であった。

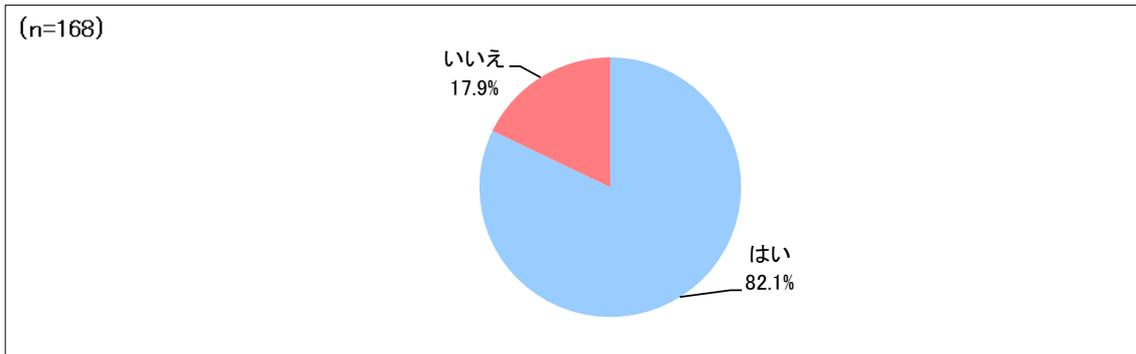


図 29 原因となったポットが一番よく使うポットか(単数回答)Q18

(イ) 原因となった電気ポットの給湯方式(お湯の出し方)

やけどをした、しそうになった電気ポットの給湯方式(お湯の出し方)については、下記のとおりである。

a. 自宅でよく使う電気ポットでやけどをした(しそうになった)経験

「電動給湯方式」が79.7% (110件)と最も多く、次いで「電動給湯とエア給湯の兼用方式」が10.1% (14件)、「エア給湯方式」5.8% (8件)となっている。

これを、図2(回答者全体の電気ポットの種類)と比較すると、ほぼ同様の傾向となっていることが確認できる。

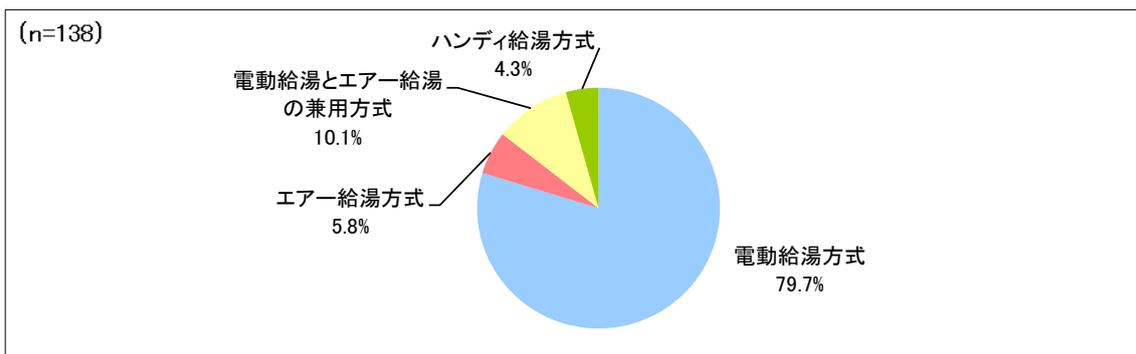


図 30 原因となった電気ポットの給湯方式:よく使うものと同じもの(単数回答)Q1XQ18

b. それ以外の電気ポットでの経験

「電動給湯方式」が63.2% (43件) と最も多く、次いで「エア－給湯方式」が16.2% (11件) となっている。

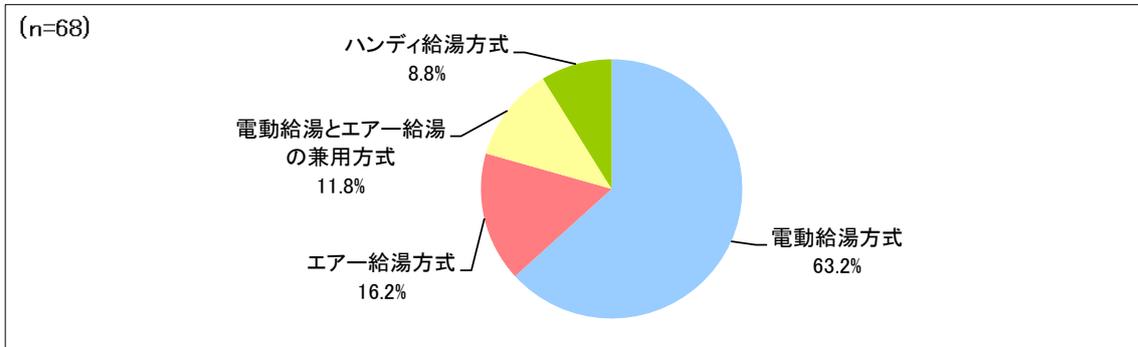


図 31 原因となった電気ポットの給湯方式:よく使うものとは別のもの(単数回答)Q18_1

(ウ) 原因となった電気ポットの容量

やけどをした、しそうになった電気ポットの容量については、以下のとおりである。

a. 自宅でよく使う電気ポットでやけどをした(しそうになった)経験

「2.0リットル以上3.0リットル未満」が38.4% (53件) で最も多く、「1.0リットル以上2.0リットル未満」27.5% (38件)、「3.0リットル以上4.0リットル未満」20.3% (28件)、となっている。

これを、図3(回答者全体の電気ポットの容量)と比較すると、3.0L以上の大きめの容量のものがやや多い割合になっている。

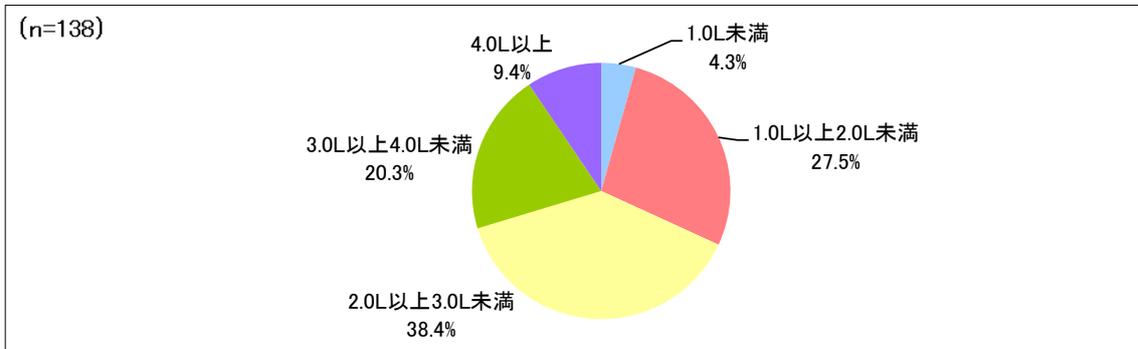


図 32 原因となった電気ポットの容量:よく使うものと同じもの(単数回答)Q2XQ18

b. それ以外の電気ポットでの経験

「1.0リットル以上2.0リットル未満」が42.6%（29件）で最も多く、「2.0リットル以上3.0リットル未満」32.4%（22件）、「1.0リットル未満」11.8%（8件）が続いている。

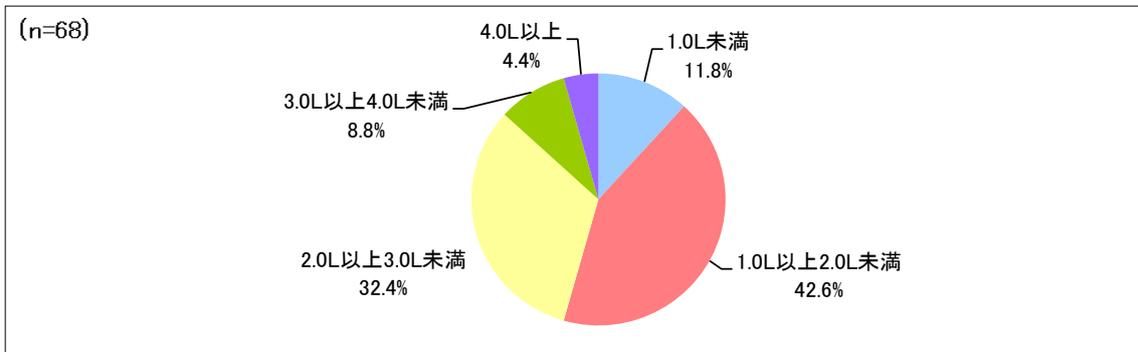


図 33 原因となった電気ポットの容量:よく使うものとは別のもの(単数回答)Q18_2

(I) 原因となった電気ポットの使用年数

やけどをした、しそうになった電気ポットの使用年数については、以下のとおりである。

a. 自宅でよく使う電気ポットでやけどをした(しそうになった)経験

「1年以上3年未満」が32.6%（45件）で最も多く、「3年以上5年未満」30.4%（42件）、「5年以上10年未満」23.9%（33件）が続いている。

これを、図 16（回答者全体の電気ポットの使用年数）と比較すると、ほぼ同様の傾向となっていることが確認できる。

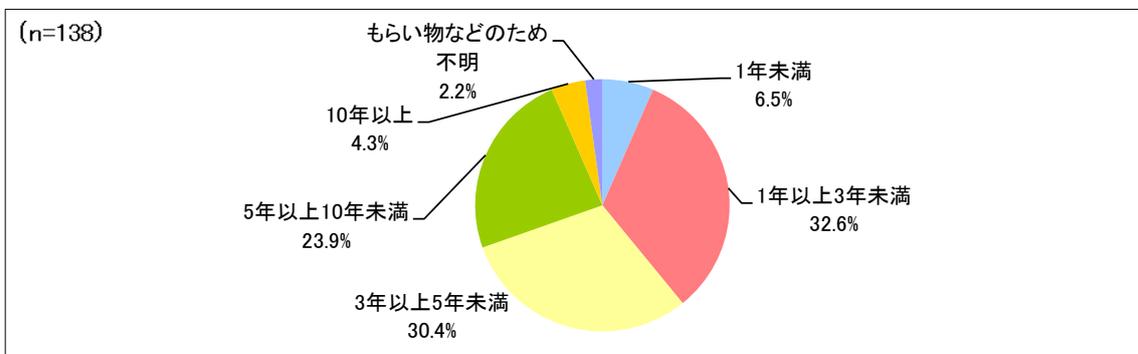


図 34 原因となった電気ポットの使用年数:よく使うものと同じもの(単数回答)Q10XQ18

b. それ以外の電気ポットでの経験

「1年以上3年未満」が27.9%（19件）で最も多く、「3年以上5年未満」25.0%（17件）、「5年以上10年未満」20.6%（14件）が続いている。

不明なものの割合が高くなっているほか、ほぼ同様の傾向にあり、違いは確認できなかった。

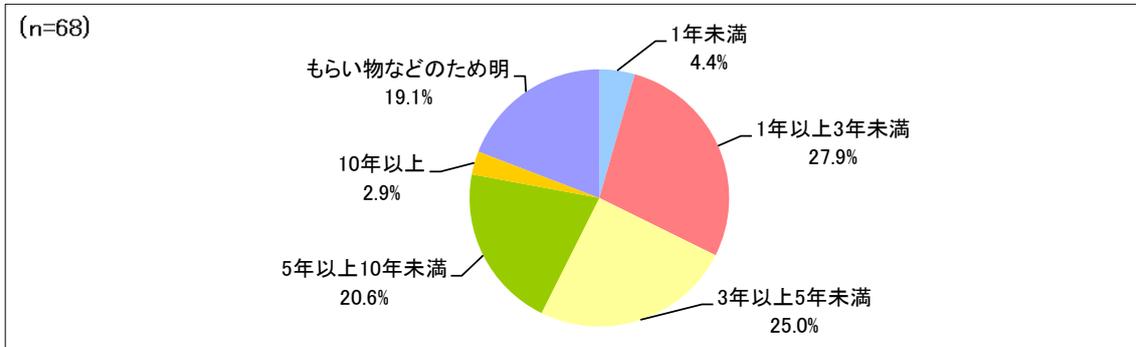


図 35 原因となった電気ポットの使用年数:よく使うものとは別のもの(単数回答)Q18_3

⑦ 電気ポットに入っていたお湯の量

やけどをした、しそうになったときに、電気ポットにはどれくらいお湯が入っていたかについては、「満タンまたはほぼ満タンの状態」37.4%（77件）、「半分くらい残っていた」32.0%（66件）、「空またはほとんど入っていなかった」12.6%（26件）となっている。

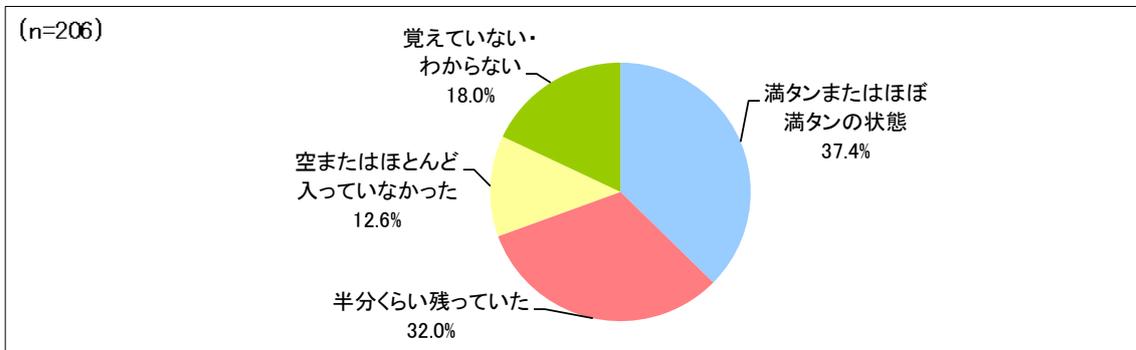


図 36 電気ポットに入っていたお湯の量(単数回答)Q19

⑧ 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験発生時の詳しい状況（自由記述）Q20

(ア) やけどをして入院した【危害①】経験

やけどをして入院した8件のうち、やけどが発生したときの状況について記載のある回答を抜粋する（括弧内は「危害」「ヒヤリ・ハット」経験発生時の子供の年齢、状態）。

【衝突して転倒】

- 置いた場所が、同じ高さだった（1歳0か月）
- 電気ポットによろけてぶつかり、中身が出てきた（3歳）

【蒸気に触れた】

- 子供がポットの上に乗ろうとしていた（1歳2か月）

(イ) やけどをして病院に行った【危害②】経験

やけどをして病院に行った22件のうち、やけどが発生したときの状況について記載のある回答を抜粋する。

【衝突して転倒】

- 自宅でポットをひっくり返してしまった（1歳6か月）

【コードをひっかけて転倒】

- 子供がハイハイをしているとき、私がうっかり目を離した隙に、お湯を出してしまい、右の足が5センチくらい水ぶくれになってしまった（0歳9か月）
- コードを足にひっかけてポットを倒した。（0歳11か月）
- こけて倒してしまった（1歳2か月）
- 足を電源コードにひっかけて、ポットを倒してしまった。私が近くにいたので、真っ赤になった足に水をかけた。病院に連れて行った。（2歳）
- 電気コードに足をひっかけ電気ポットを倒した。（2歳）
- コードに足が引っかかりポットを倒した（4歳）
- 子供が倒した（5歳）

【給湯操作した】

- 子供が踏み台を持ってきて上に乗り、ポットのロック解除をしてしまい、お湯を出して指をやけどしました。泣いたのですぐ氷水で冷やし、病院に行きました。（2歳）
- 足をやけど、痕が残る（3歳）

【蒸気に触れた】

- 沸かしているときに蒸気が出ているところに手をやった。（1歳6か月）
- 沸騰中でフタから湯気が出ている状態で、好奇心に駆られた子供がそれを手のひらで押さえつける感じでさわった（2歳）

【つかまったり触ったりして転倒】

- 夜の夕飯の支度の時にポットを触ってお湯がこぼれた。（1歳9か月）

【周囲の者が転倒させた】

- 太ももにかかった（3歳）

【その他】

- 父親が給湯してる時に子供が出てくるお湯に手を出した。（1歳6か月）

(ウ) やけどはしたが病院へは行かなかった【危害③】経験

やけどはしたが病院へは行かなかった46件のうち、やけどが発生したときの状況について記載のある回答を抜粋する。

【コードをひっかけて転倒】

- コードにひっかかってふたが少しあいて、ちょろちょろとお湯がこぼれました。（3

歳)

【給湯操作した】

- スイッチのロック機能があったが、ボタンに興味を持つ、1歳10か月ぐらいに、お湯の解除を長押ししてしまい押しすぎてしまいお湯が出た。(1歳10か月)
- 祖母がお茶を急須に入れる際、手伝おうとして、祖母に手を支えられながら給湯ボタンを押したが、ふいに体を動かし急須から湯が溢れ、足にやけどした。(3歳)
- 祖母のお茶を入れようとして湯飲みを注ぎ口に当てたのだが、指の一部に熱湯がかかってしまった(4歳)
- 目を離した隙にカップ麺を作ろうとしたようでお湯を手に浴びた時騒いだ(5歳)
- 親がお湯をコップに注いでいる時、少し目を離したすきにイタズラで給湯ボタンを押した(5歳)

【蒸気に触れた】

- ポットに水を入れて沸かしていた際に、蒸気に興味を持ち、触れてしまいやけどをした(0歳9か月)
- 流し台に置いておいたら触ろうとしていた(1歳0か月)
- 和室の床にポットを置いているとき、家事で少し目を離しているときに湯沸かし中の蒸気に触りたくなったよう。(1歳2か月)
- 家事で目を離したときに子供が蒸気がでているのに触ろうとして。(1歳6か月)
- 遊んでいて不意に触ってしまった(2歳)
- 水を足して沸かしている時に、子供がポットの近くを通過して、誤って触れてしまった。近くに親はいたが、見ておらず、その時はやけどは確認出来ず、翌朝、水膨れになっていたのでもやけどに気づいた。(2歳)
- お湯が湧く時の蒸気に触れた(2歳)
- 吹き出している蒸気に触れた(3歳)
- 沸騰している蒸気が気になったようで手をかざしていた(3歳)
- お湯を沸かしているときに、湯気の出入り口(ふた)部分に触った(3歳)

【つかまったり触ったりして転倒】

- 旅館で、子供から目を離していた時、急に泣いたので様子を見に行ったら、電気ポットが倒れていてお湯が漏れていた。子供の靴下が濡れていたのですぐに脱がせたが、足の裏が少し赤くなっていて、その後水ぶくれが出来ていたが、幸い大事には至らなかった。(1歳4か月)

【周囲の者が給湯操作を誤った】

- いたずらした(2歳)

【周囲の者が給湯する際に給湯口から飛び散ったお湯がかかった】

- 注ぎ口から垂れたお湯に触ってしまった。(3歳)

【わからない】

- 台所で子供が何かを取りに来た時に何かに引っかかったようでポットが転倒した。

お湯は半分ぐらいこぼれた。原因不明（7歳）

(E) 危ないと思ったが、やけどまではしなかった【ヒヤリ・ハット】経験

危ないと思ったが、やけどまではしなかった 130 件のうち、そのときの状況について記載のある回答を抜粋する。

a. やけどはしなかったが、実際にお湯がこぼれたり出たりした経験

【衝突して転倒】

- 昼間台所で、電気ポットから 100ml 程度お湯がこぼれた。蓋は閉まっていた、ロックはかかっていた、子供が倒した。(0歳6か月)
- 子供がハイハイしていて、ポットにぶつかり、ポットが倒れたとたん、ポットの蓋が開いて、お湯が出てきた。子供の方にお湯は出てこなかったもので、やけどには至らなかった。(0歳11か月)
- 子供が電気ポットに手をかけて、倒してしまい、1リットルくらいのお湯がこぼれた(1歳8か月)

【給湯操作した】

- 台所の調理場と背中合わせに電気ポットが置いてある棚があり、私（母親）が料理をしている最中に後ろで電気ポットのボタンをいじり始め、たまたまロック解除後に給湯ボタンを押しお湯が出てしまい、子供本人もとても驚いた様子でした。幸いやけどはなかったので、安心しました。(1歳2か月)
- 目を離した際にボタンを押ししてしまい少量のお湯が出たが、給湯口と反対にいたので、やけど等はなかった(1歳3か月)
- お茶を淹れてすぐだったので、給湯のロックがかかかっていなかった。操作を見ていた子供が真似して給湯ボタンを押し、少しだけお湯が出た。それ以来、すぐ使わない時はプラグを抜いている。(1歳10か月)
- キッチンスペースの上に座らせていた時、一瞬目を離したら解除ボタンを押し、給湯ボタンを押し、持っていた容器にお湯を入れようとしていた。操作の方法は知っており、いつも一緒にやっていたのだが、この時は自分でやろうとした。容器に入れようとしたお湯がこぼれてしまい、キッチンスペースに広がった。やけどはしなかったが、危なかった。(2歳)
- 近くに親も祖母もいたのですが、大人同士で話していて、目を離してしまったときに、子供が、大人が使うのを見て操作を覚えたようで、一人でコップにお湯を入れようとして、お湯が出てきてしまい、やけどはしなかったけれど、お湯がかかってしまった(3歳)

【つかまったり触ったりして転倒】

- 長女が11か月の時に和室のちゃぶ台の上に置いてあったポットの線遊び始めました。危ないなあと思いながらテレビに目を奪われた瞬間、ガシャーんと音がしてポットが倒れてしまいました。子供は倒れた音で大泣きしていました。幸い少ししか

お湯もこぼれずやけどをせずすみしました。子供の手が届く所に置いてはいけないと再確認。それからは手が届かない場所に置いて使用しています。(0歳11か月)

- 夕方、台所にて子供が電気ポットに掴まり立ちをして倒れた。蓋が空いてお湯が溢れたが、大事には至らなかった。(1歳2か月)
- 客間の和室においたポットに子供が触れて転倒し、ふたがあいてしまい、お湯がこぼれてしまった。子供の場所とは反対側に倒れたので、やけどをせずすみしました。必ずそばに付き添い注意していましたが、一瞬の隙に起こってしまいました。(1歳4か月)

【周囲の者がコードをひっかけて転倒】

- その時はたまたまポットの近くのコンセントが使えず、足元のコンセントを使っていた。子供が気付かないうちにキッチンへ入ってきて焦っていたらコンセントに私が足をひっかけて、棚の上でポットが倒れてお湯が溢れた。お湯が棚の上からこぼれなかったのも誰もやけどはしなかったが、もし床にお湯がこぼれ落ちたら子供にかかっていた。(1歳3か月)

b. お湯がこぼれたり出たりしなかった経験

【衝突して転倒】

- 旅館に泊まりに行き、和室の広さに子供が喜び動き回ってポットに衝突。幸い親が近くにいたためポットの転倒は避け、お湯がこぼれることもありませんでした。誰もケガしませんでした。置き場所をもう少し気にすればよかったです。(0歳10か月)
- ふざけていて棚にぶつかりそうだった(もしくはぶつかった)ので叱った。ポットが倒れることはなかったので、被害はなかった。ポットは常時ロックしている。(5歳)

【コードをひっかけて転倒】

- 1歳2か月頃娘がコードに足をひっかけた。ポットは倒れずロックもかかかっていてお湯はこぼれなかった。(1歳2か月)

【コードをひっぱって転倒】

- 台所に入りコードがたまたま目に入りひっぱりぬけたので大事にはならなかったがポットは少し傾き私が抑えた(1歳10か月)
- 自宅でコードをひっぱって台の上にあったポットが倒れそうになった。近くにいたためすぐに支えたのでケガ等はなかった。(2歳)
- 子供が棚の上に置いてあるポットを下から引っ張ろうとしていた。落ちる前に気がついたので大事にはならなかった(2歳)
- 台所にあるワゴンの上に置いていた。ワゴンの足がキャスター付きで動くので、押ししてしまった。その時コードもひっぱってしまい慌ててやめさせた。蓋もしまっており、転倒もせず、被害はなかった。私が台所で作業をしている時にそばにいての出来事でした。(3歳)

【給湯操作した】

- 親が操作しているのを見て自分もできると思って自主的に触って操作しようとした。(0歳7か月)
- ちょうど沸かしている時にボタンを操作していた(1歳0か月)
- 母親が料理をしていて目を離していたら子供がポットのボタンを押していたが、給湯ボタンではなかった為お湯は出なかった。(1歳1か月)
- 私が夕食の準備中にポットからお湯を出しているのを見て、真似をしてお湯を出そうとした。ロックがすぐ掛かったため、お湯は出なかったが、覚えてしまったら遊んでしまうため、危ないと思った。(1歳2か月)
- 踏み台に登る事を覚えて、自分の踏み台を持ち歩いており、台所のポットのある棚の前に踏み台を持ってきた。踏み台に登り、ポットの給湯ボタンに手を伸ばしたが安全ロックがかかっていたため、お湯は出なかった。(1歳8か月)
- 蒸気が出ているときに弄り回していた(1歳10か月)
- 一人で立って歩き回れるようになり、何にでも興味があつてロックボタンや給湯ボタンにも触ろうとした。(2歳)
- 台所の棚に置いてある電気ポットは手が届かない高さにあるが、子供が踏み台を持ってきて電気ポットのボタンを押そうとしている所を発見した。お湯が出たり倒れたりしなくてホッとした。(2歳)
- キッチンのベビーゲートを開けたままにし、そのまま子供がポットを操作しようとした(2歳)
- 椅子に上って、給湯スイッチを押しそうになった(3歳)
- 自分でお茶を入れようとしたが、危ないので慌てて止めた。お湯も蒸気も出なかったなので、やけどやケガはしていない。(4歳)

【蒸気に触れた】

- 自宅でポットでお湯を沸かしていて、沸いて出ている蒸気が気になったのか、触ろうとしていた。子供がいかなないようにしてあったが、つかまり立ちや歩くようになった頃だったので、届いてしまった(1歳0か月)
- 目を離したすきにポットに近づいていた。それ以来、ポットは洗面台の上に移動して手の届かない場所に避難(1歳2か月)
- 沸かしている最中の蒸気に興味を持った子供が手を出しそうになった(2歳)
- お湯を沸かしている時に出る湯気を気にして触ろうとした時(1歳6か月)
- 蒸気を覗きこむ(1歳8か月)
- 追い焚きした湯気に興味を持ち、さわろうとした(1歳10か月)
- ポットの近くで遊んでいて、沸騰して蒸気が出ている所をさわろうとした。(2歳)
- 夕食を作っているときに近くに来てお湯を沸かしているときに湯気を触ろうとした。(3歳)
- 自宅のキッチンで夕飯を作っている時に気づいたらポットに手をかけていた。ちょ

うど湯沸かし中だったが転倒などはなく火傷もしなかったので大事には至らなかった。(4歳)

【つかまったり触ったりして転倒】

- ロックが掛かっていたのでお湯は出なかったが、倒れてもし蓋が開いたらと思うと危なかった。(2歳)

⑨ 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の原因

やけどをした、しそうになった原因は何であったと考えられるか聞いたところ、「子供の手が届くと思っていたが、触れないような対策をしていなかった」が 31.1% (64 件) で最も多く、「置き場所が悪かった」27.7% (57 件)、「子供の手が届くと思わなかった」25.7% (53 件) が続いている。「電気ポット自体に問題があった」との回答はなかった。その他の回答には「保護者の不注意」が挙げられていた。

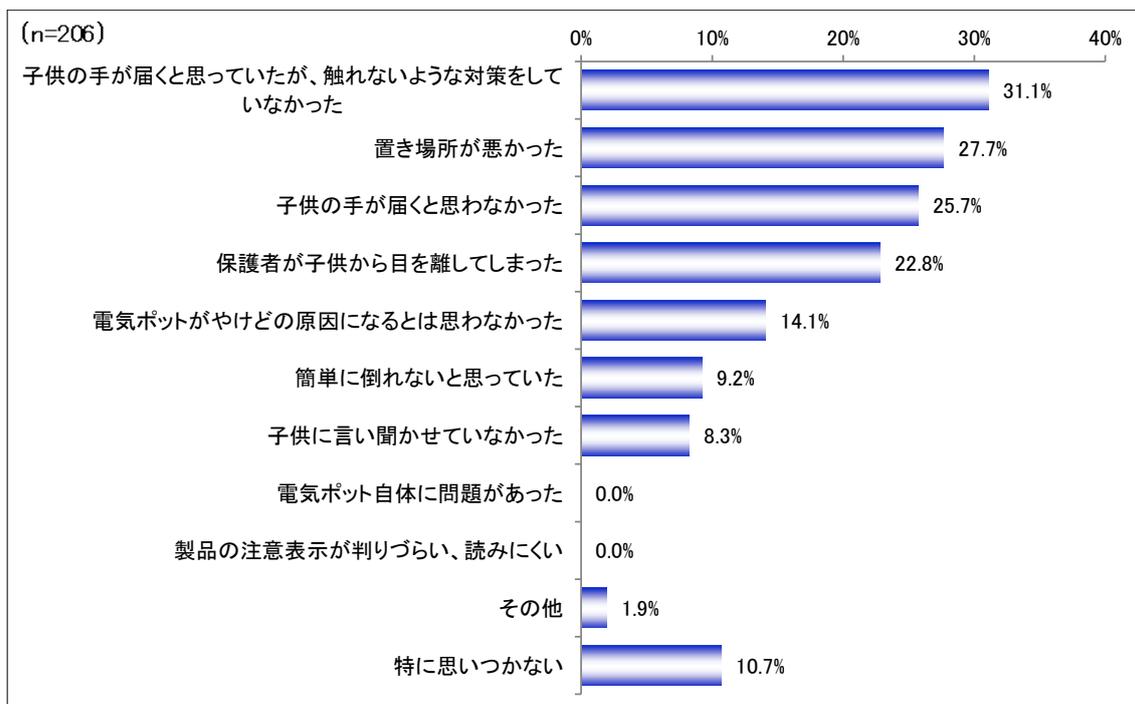


図 37 考えられる原因(複数回答) Q21

⑩ 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の際に製品について報告の有無

やけどをした、しそうになったとき、製品についてどこかに報告(相談や情報提供を含む)をしたかについては、「報告しなかった」が 65.5% (135 件) で最も多く、「販売店」16.0% (33 件)、「メーカー」14.6% (30 件) が続いている。その他(1 件)は、「旅館の人」であった。

報告しなかったと回答した人に、その理由を聞いたところ、「保護者の不注意だから」「製品に問題はないと思うから」が多くを占めていた。

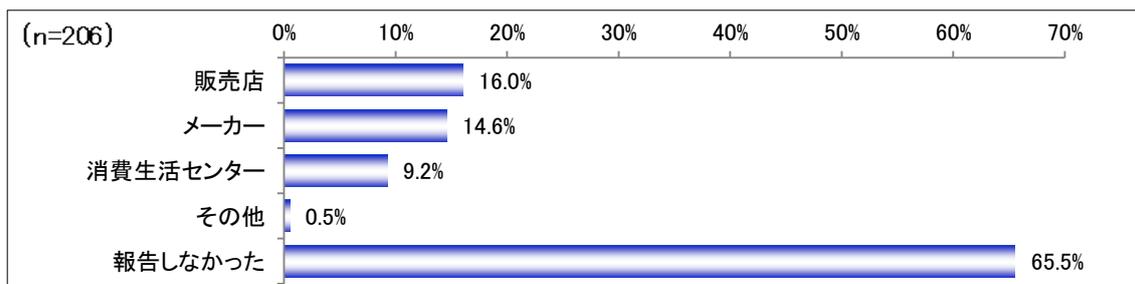


図 38 製品についての報告の有無(複数回答) Q22

(3) 電気ポットの危険性について

ここからの質問は、調査対象者全員（1,040人）に聞いている。

① 電気ポットの危険性について

(ア) 電気ポットの取り扱いについて、危険性を感じているか

子供のいる環境において、電気ポットの取り扱いについて、危険性を感じているかについては、「多少は危ないと感じている」が38.2%（397件）で最も多く、次いで「危ないと感じていない」21.7%（226件）、「それほど危ないとは感じていない」21.6%（225件）「とても危ないと感じている」18.5%（192件）となっている。

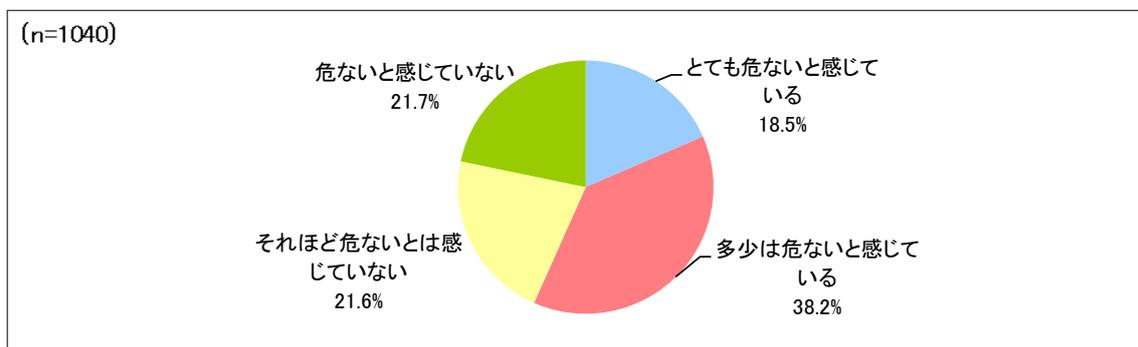


図 39 電気ポットの取り扱いについて危険性を感じているか(単数回答) Q23

(イ) 年齢別、電気ポットの取り扱いについて危険性を感じているか

回答者の年齢別に、電気ポットの取り扱いについて危険性を感じているかをみると、年齢が若い方が「とても危ない」と感じていることがわかる。

一方、「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の有無について、回答者年齢別に見たものは図 41 である。経験についても若い層で多いことがわかる。

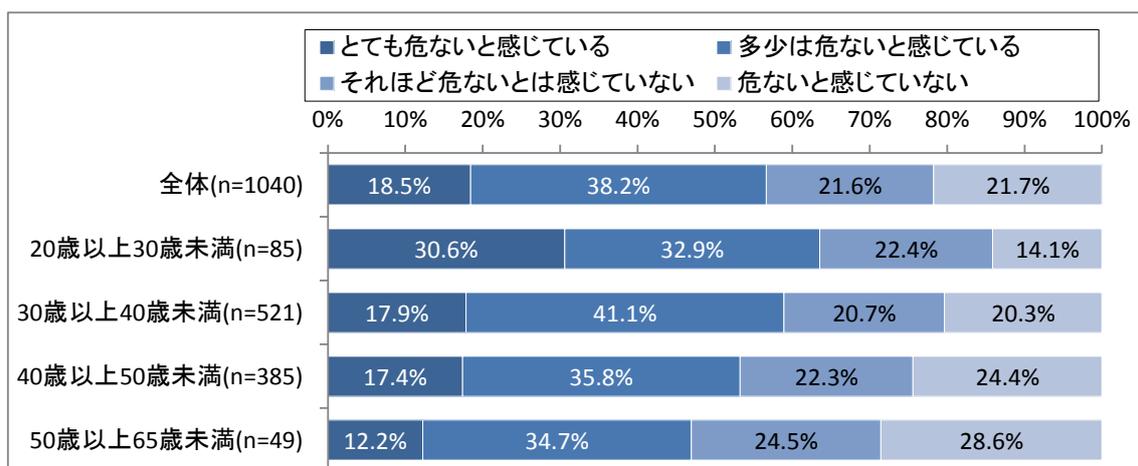


図 40 回答者年齢別、電気ポットの取り扱いについて危険性を感じているか(単数回答)

Q23XSC2

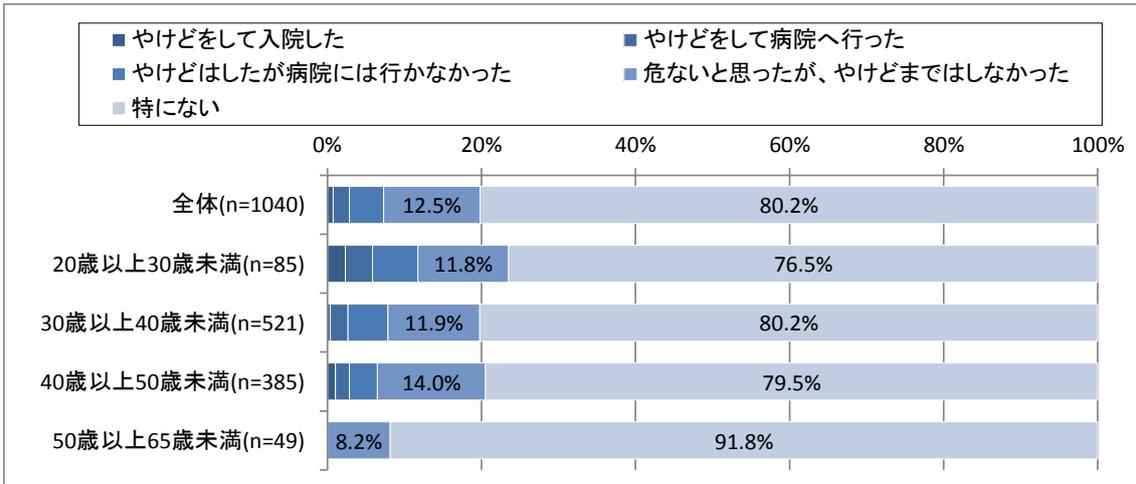


図 41 回答者年齢別、「危害」「ヒヤリ・ハット」経験(単数回答) Q12XSC2

(ウ) 電気ポットのどのような点に危険を感じているか

前問で「とても危ないと感じている」「多少は危ないと感じている」と回答した人に、どのような点に危険を感じているか聞いたところ、「子供が蒸気に触れそう」が 48.0% (283 件) で最も多く、次いで「子供がボタンを触りそう」44.7% (263 件)、「子供がコードをひっぱりそう」38.2% (225 件) であった。その他としては「大人の給湯時にお湯がかかりそう」などの回答があった。

ぶつかったり、ひっかかたりして転倒させることよりも、子供の興味本位の行動（蒸気に触れそう、ボタンを触りそう、コードをひっぱりそう）に危険を感じている人が多い。

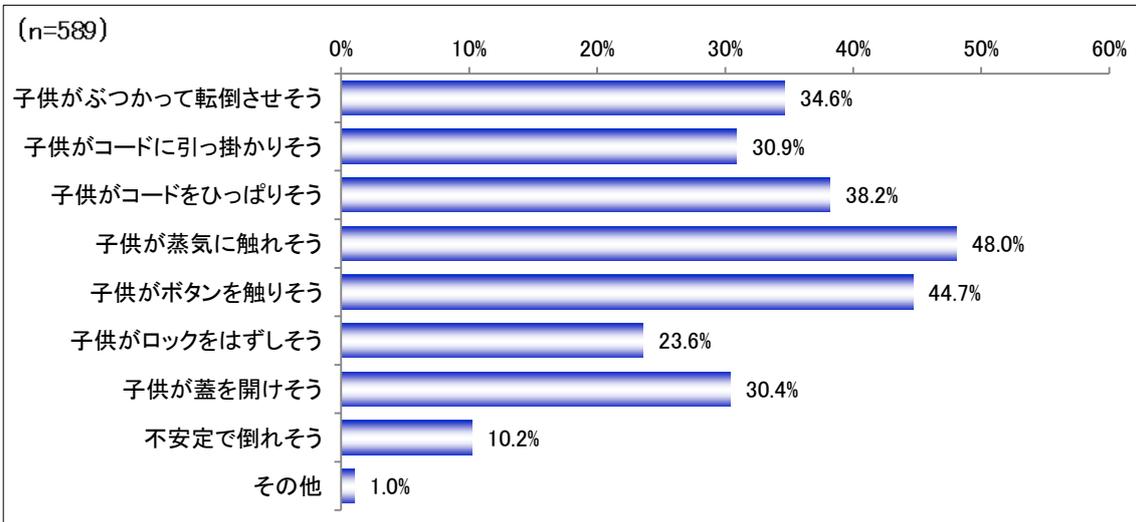


図 42 電気ポットのどのような点に感じているか(複数回答) Q24

② 電気ポットによる事故を防ぐための対策

電気ポットによる事故を防ぐために、どのような対策をしているかとの質問については、「電気ポットを置く場所に配慮している」が 46.7% (486 件) で最も多く、「子供が危ない行動をしたときに注意している」27.2% (283 件)、「特に対策はしていない」23.6% (245 件)であった。一方、「こまめに電気ポットを点検及び清掃している」は 7.3% (76 件) と最も少なかった。その他の回答として、「台所に入れないようにしてある」「言い聞かせてある」「沸かした後プラグを抜く」などがあつた。

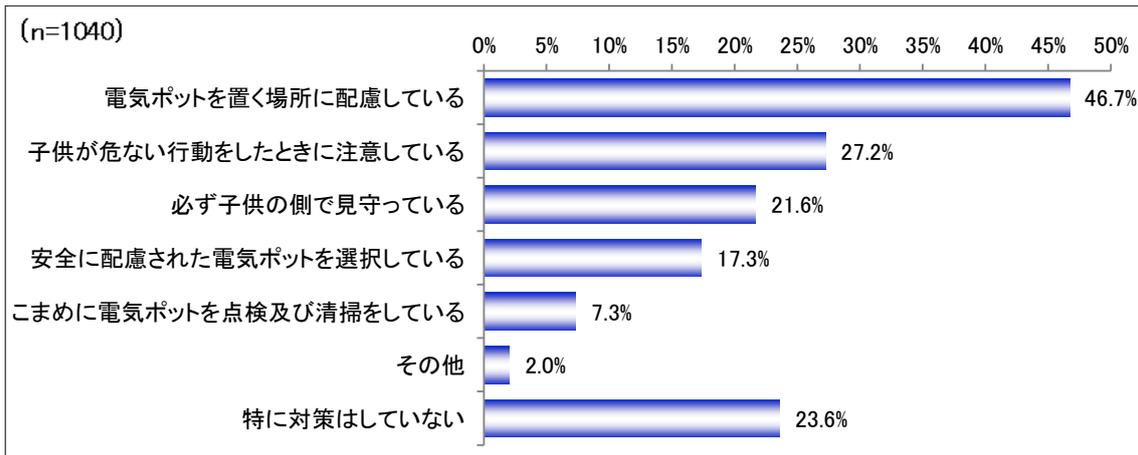


図 43 電気ポットによる事故を防ぐための対策(複数回答) Q25

③ 電気ポットの安全上の注意表示および注意事項を確認しているか

電気ポットの安全上の注意表示および注意事項を確認しているか聞いたところ、「注意表示や注意事項はなかった、見ていない」が 26.6% (277 件) で最も多く、「本体及び取扱説明書の両方を確認している」24.0% (250 件)、「注意表示や注意事項があることは知っているがいずれも読んでいない」19.0% (198 件) であつた。

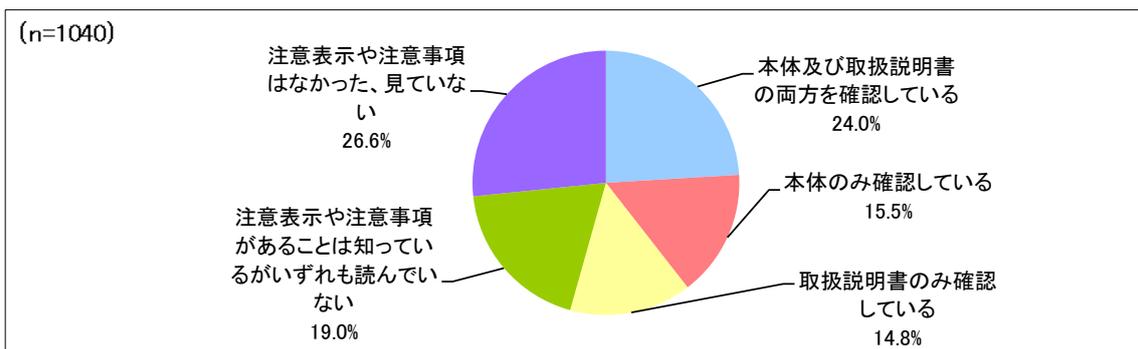


図 44 電気ポットの安全上の注意表示および注意事項を確認しているか(単数回答) Q26

④ 子供の事故防止に関する情報入手の状況

子供の事故防止に関する情報をどこから入手、または、見聞きしているかについては、「テレビ・ラジオのニュース」が 56.0% (582 件) で最も多く、「インターネットのニュース」36.1% (375 件)、「子供の事故防止に関する情報を見聞きすることはない」19.5% (203 件) となっている。

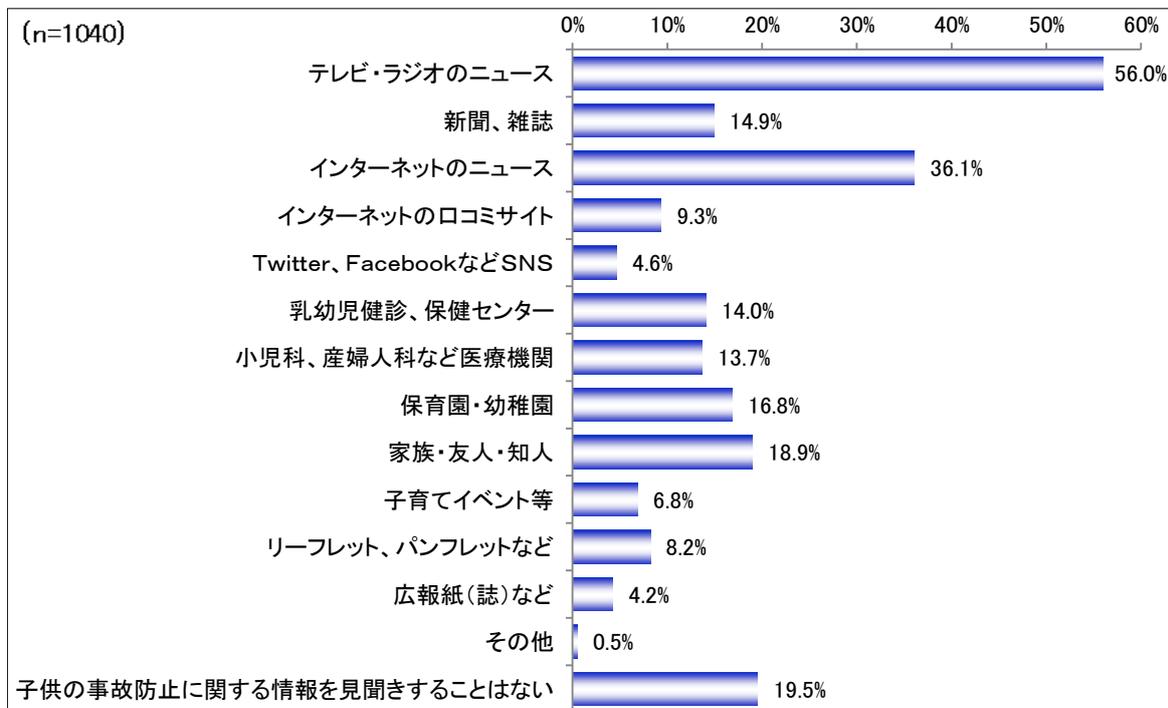


図 45 子供の事故防止に関する情報入手の状況(複数回答) Q27

(4) 電気ポットに対する意見・要望等 Q28

子供の電気ポットの安全性について、感じることや考えていること(不安や疑問)、事業者(メーカーや販売店等)や行政への要望についての自由記述欄には、271 件の記載があった。記述内容の傾向は以下のとおりである。

① 不安に感じていること(32 件)

- 倒れたらすぐにお湯が出てしまいそうなのが不安。
- 単純なロック機能だと子供が見て解除方法を覚えてしまう。
- 解除された後、そのままだとすぐ押せてしまい危ない。
- 沸騰するときに蒸気がでるものはやけどの心配があります。

② 事業者への要望(構造に関する要望)

(ア) チャイルドロックを強化してほしい(53 件)

- ロックを出来れば2重にした方がより安全になると思います。

- 最近の電気ポットはロックの解除が簡単すぎる気がします。もう少し子供ではロックを解除しづらい工夫が必要だと思います。
- ロック解除と給湯、という 2 つのボタンだけなので簡単に子供が覚えて押したがりま
す。子供が簡単にはお湯が出せないような対策をお願いしたいと思います。
- 指紋認証
- ロック機能は有効だと感じています。そのうえで、子供がロック解除+給湯ボタンを
無意識で連続して押してしまわないよう、ボタンの位置を工夫してもらえると助かり
ます。本体からコードがすぐはずれる仕組みも有効と感じています。置き場所（本体
とコンセントとの距離）に応じて、コードの長さを調節できるようになればなお良し
かと思います。

(イ) 転倒してもお湯がこぼれないようにしてほしい(22 件)

- 倒れてもお湯がこぼれないようになると良い。
- 倒れても蓋があかずお湯がこぼれないポットが欲しい。

(ウ) 蒸気が出ないようにしてほしい(17 件)

- 湯気の出る場所の工夫か、湯気がでない性能をつけてほしい。
- 蒸気の出ないポットがあると、子供もお年寄りもやけどの心配が少なくなります。そ
んなポットが、低価格で買えると助かります。

(エ) 電源コードに関する要望(8 件)

- コードが長すぎていつかコードに足をひっかけそうなので、コードをリール形にする
ともっと便利だと思う。
- コードレスのものが開発されると良いと思います。

(オ) その他構造に関する要望(23 件)

- 倒れにくいものを作ってほしい。
- 危険をお知らせする音がほしい。

③ 事業者への要望（注意喚起・啓発を求める意見）(11 件)

- 推奨する置き場所を示してくれるとよいと思う
- 電器店などよく行く場所に啓発用のチラシなどが置いてあると見やすいと思います。
- 家の中では注意が行き届くが、祭りや会合等では昔ながらのポットややかんなどを
使っているのを見かけるので、子供連れの際は特に不安になる。ポットやお湯の危険性
についてもっと周知のためのアナウンスが必要ではと思う（事業者・行政共に）。
- 実際の事故について定期的に知らせて欲しい。それを参考にして防止策を考えたい。

④ 使用者（親）の責任と考える(50件)

- 子供の手が届かないところに設置するのが一番大切だと思う。
- ポットを置く場所に配慮したりお湯を沸かした後にプラグを抜いたりすることで、子供のやけどなどの事故は減らせると思う。
- なるべく小さな頃はずっとつけっぱなしにしない。出来るだけ使う分を沸かすほうが良いと思う。

⑤ 特に不安は感じていない(23件)

- 最近のポットは安全対策がきちんとされているので特に要望はない。
- 特にありません。今の電気ポットは、とても性能が良いので、親も安心しておりますが、逆に安心しすぎて、危機管理が怠ってしまう状況も作っていると思います。性能が良いのは素晴らしいですが、親自身も常に子供の危険を感じ、生活しなければとは思いません。

4 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の原因行動の分析

「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きたときの状態に着目して分析した結果を以下にまとめる。

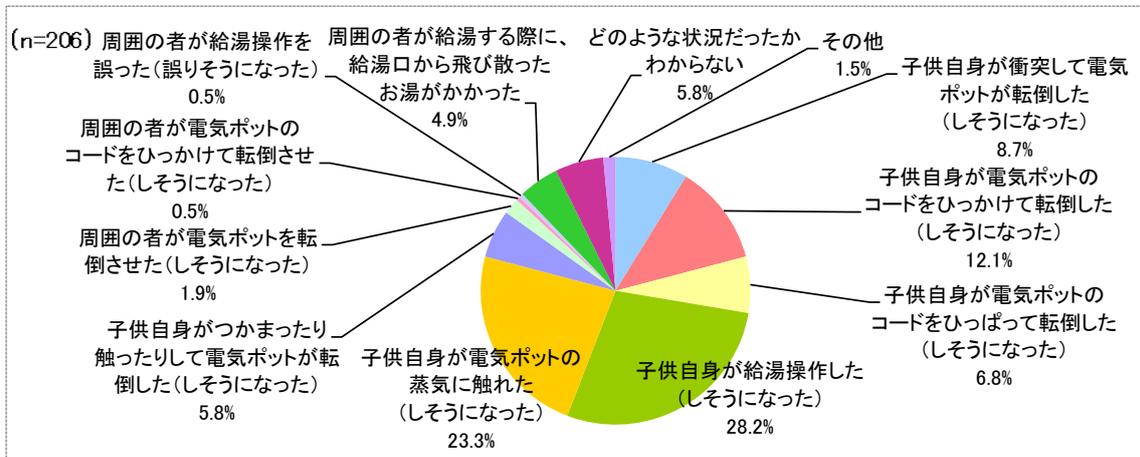


図 46 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた状況(単数回答): 図 25 の再掲

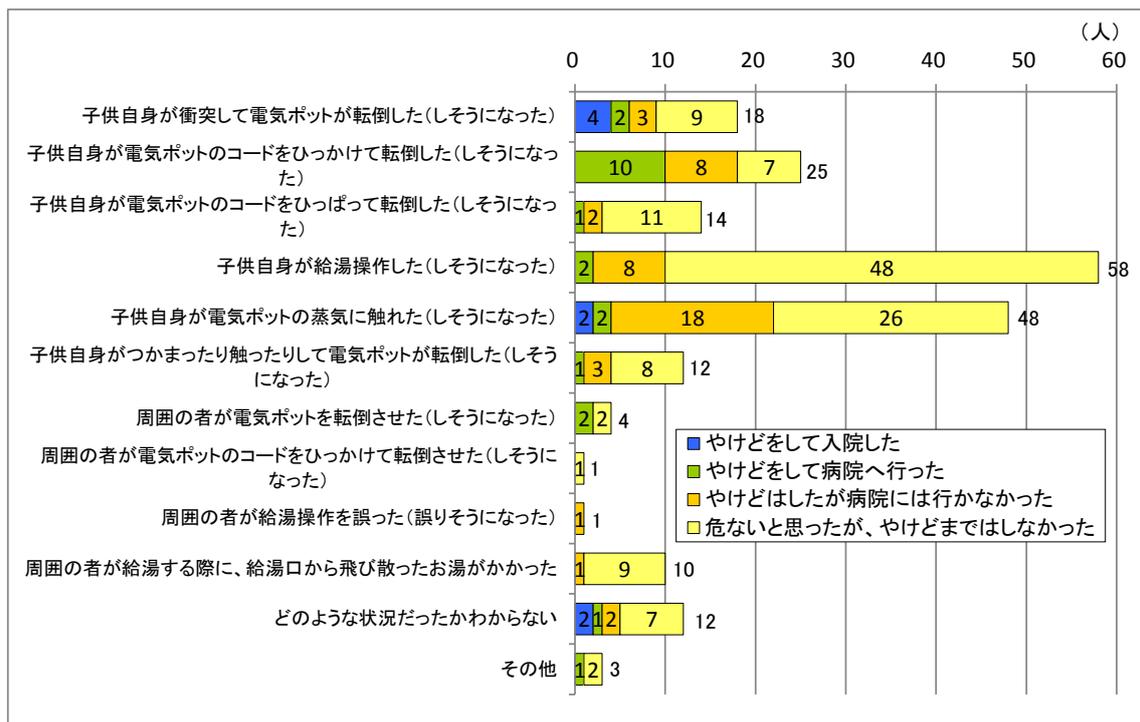


図 47 「危害」「ヒヤリ・ハット」経験が起きた状況(危害程度別)(単数回答)

なお、以下、各経験の括弧内はアンケートの各回答を示す（子供の年齢、危害の程度、経験が起きた場所、経験が起きた際の電気ポットの置き場所、経験の原因となった電気ポットの給湯タイプ、経験の原因となった電気ポットの使用年数、電気ポットに入っていたお湯の量（順不同））。

それぞれの選択肢は下記のとおりである。

危害の程度	「入院」（やけどをして入院した） 「病院」（やけどをして病院へ行った） 「やけど」（やけどはしたが病院には行かなかった） 「ヒヤリ・ハット」（危ないと思ったが、やけどまではしなかった）
経験が起きた場所	自宅 祖父母・親戚の家 友人の家 旅館やホテル その他
経験が起きた際の電気ポットの置き場所	台所の調理スペース・流し台 台所の棚・ラック 台所の床 居室（洋室）のテーブル 居室（洋室）のローテーブル 居室（洋室）のワゴン 居室（洋室）の床 居室（和室）の座卓 居室（和室）のワゴン 居室（和室）の床
経験の原因となった電気ポットの給湯方式	「電動」（電動給湯方式） 「エアー」（エアー給湯方式） 「電動・エアー兼用」（電動給湯とエアー給湯の兼用方式） 「ハンディ」（ハンディ給湯方式）
経験の原因となった電気ポットの使用年数	1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満 5年以上10年未満 10年以上 もらい物などのため不明
電気ポットに入っていたお湯の量	「（ほぼ）満タン」（満タンまたはほぼ満タンの状態） 「半分」（半分くらい残っていた） 「ほぼ空」（空またはほとんど入っていなかった）

(1) 給湯操作をした（しそうになった）経験：「給湯操作」

「危害」「ヒヤリ・ハット」の全体数の中で、「子供自身が給湯操作した（しそうになった）」は最も多く 58 件（28.2%）となっている（図 46）。58 件のうち「ヒヤリ・ハット」は 48 件（82.8%）であり、実際のやけどに至った「危害」は 10 件（17.2%）であった。（図 47、図 48）

経験時の年齢は、1 歳、2 歳の順に多く（図 27）、「操作を見ていた子供が真似して給湯ボタンを押し、少しだけお湯が出た（1 歳 10 か月）」「沸いたときに興味を持ち触ってしまった（1 歳 6 か月）」といった回答が目立つ。

58 件のうち、自宅での経験は 48 件であり、これらの場所の詳細（図 49）について、全回答者全体の普段給湯する場所（図 14）と比較すると、台所や居室の床（2.2%→8.3%）や、居室のワゴン（2.4%→8.3%）が多くなっており、台所の調理スペース・流し台（35.5%→25.0%）は少なくなっている。

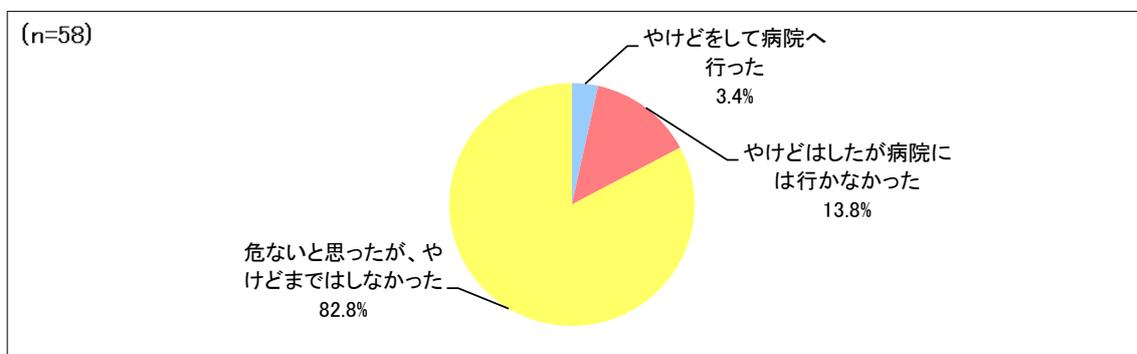


図 48 「給湯操作」での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の割合 (単数回答)

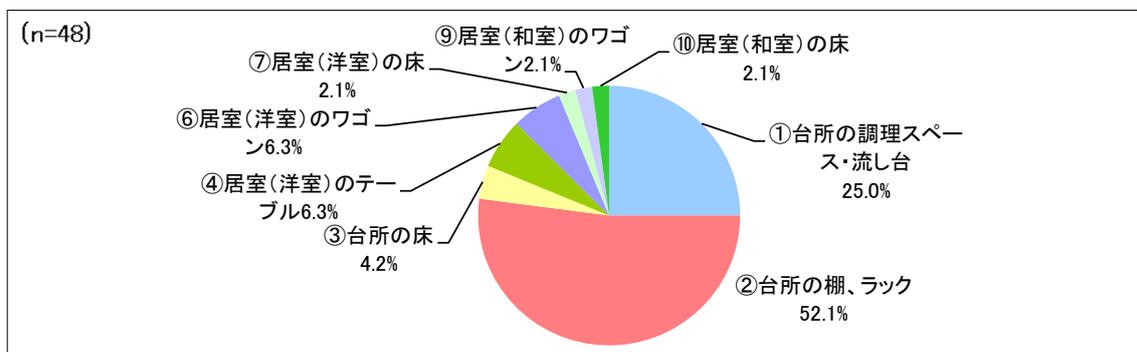


図 49 「給湯操作」の際の自宅での置き場所の割合 (単数回答)

やけどをして病院へ行った経験 2 件の詳細は、以下のとおりである。

【「給湯操作」による危害経験の概要】

- 子供が踏み台を持ってきて上に乗って、ポットのロック解除をしてしまい、お湯を出して指をやけどしました。泣いたのですぐ氷水で冷やし、病院に行きました。
(2 歳、病院、自宅、台所の棚・ラック、エアー給湯)
- 足をやけどし、痕が残る。

(2) 蒸気に触れた(しそうになった)経験:「蒸気に触れる」

「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の中で、「蒸気に触れる」は「給湯操作」に次いで多く48件(23.3%)となっている(図46)。この中で実際にやけどに至っているのは22件(45.8%)であり、「ヒヤリ・ハット」を除く「危害」では最も多い(図47、図50)。

年齢は、「給湯操作」と同様、1歳、2歳の順に多く(図27)、「蒸気が気になったようで(3歳)」、「蒸気に興味を持ち、触れてしまい(9か月)」のほか、「子供がポットの近くを通過して、誤って触れてしまった(2歳、洋室の床)」という回答もあった。

48件のうち、自宅での経験は40件であり、これらの場所の詳細(図51)について、全回答者全体の普段お湯を沸かす場所(図13)と比較すると、「台所の棚・ラック」の割合が49.5%から37.5%と小さくなっている。一方、「台所の床(1.2%→5.0%)」、「居室(洋室)の床(0.9%→7.5%)」「居室(和室)の床(0.2%→7.5%)」の割合が大きくなっている。

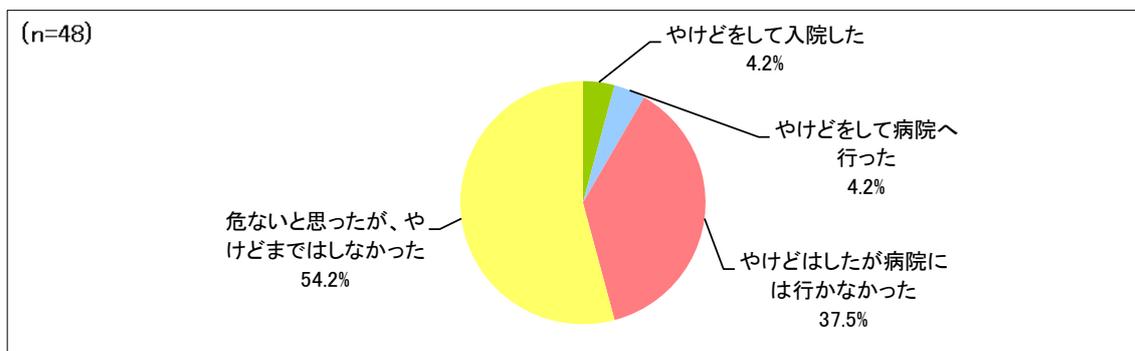


図50 「蒸気に触れる」での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の割合(単数回答)

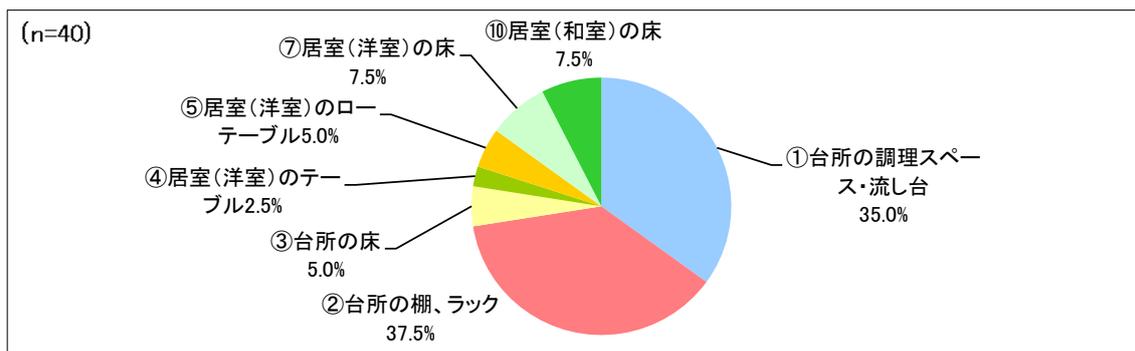


図51 「蒸気に触れる」の際の自宅での置き場所の割合(単数回答)

危害経験のあった経験のうち、状況の記述に詳しい記載があったものを以下に記す。

【「蒸気に触れる」による危害経験の概要(抜粋)】

- 子供がポットの上に乗ろうとしていた
(1歳2か月、入院、祖父母・親戚の家、洋室のワゴン、電動・エアー兼用)
- 沸かしているときに蒸気が出ているところに手をやった。

(1歳6か月、病院、自宅、洋室の床、電動)

- 沸騰中でフタから湯気が出ている状態で、好奇心に駆られた子供がそれを手のひらで押さえつける感じでさわった

(2歳、病院、祖父母・親戚の家、和室の床、電動)

(3) 「コードをひっかけて転倒・コードをひっぱって転倒」の経験：「ひっかけ」・「ひっぱり」

「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の全体数の中で、「コードをひっかけて転倒」は25件(12.1%)、「コードをひっぱって転倒」は14件(6.8%)である(図46)。「コードをひっかけて転倒」25件のうち、「入院」「病院」の危害は10件あり、「入院」「病院」の危害全体(30件)の3分の1を占める(図47)。ひっかけて転倒した場合、大量の流水につながる可能性が高く、重度の危害に及ぶと考えられる。なお、コードにひっかけた経験25件のうち、ひっかけた体の部位が具体的に記載されていたものは7件であり、7件すべて「足」であった。

コードに関わる「危害」「ヒヤリ・ハット」経験においては、「ひっかけ」「ひっぱり」ともに、2歳、1歳の順に多い(図27)。行動が活発になり、力も強くなった2歳児の方が多くなっていることがうかがわれる。

「コードをひっぱって転倒」14件のうち、自宅で経験が起こった13件の場所を確認すると9件(69.2%)が「台所の棚・ラック」で起こっている(図53)。

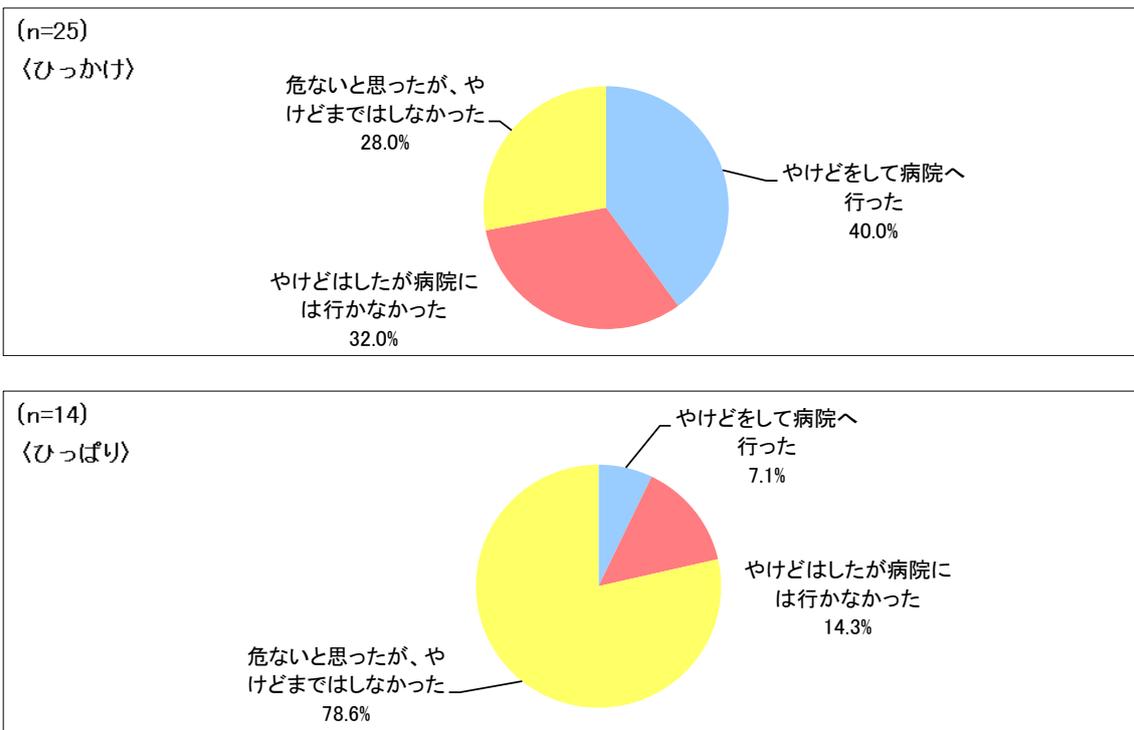


図 52 「ひっかけ」「ひっぱり」での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の割合(単数回答)

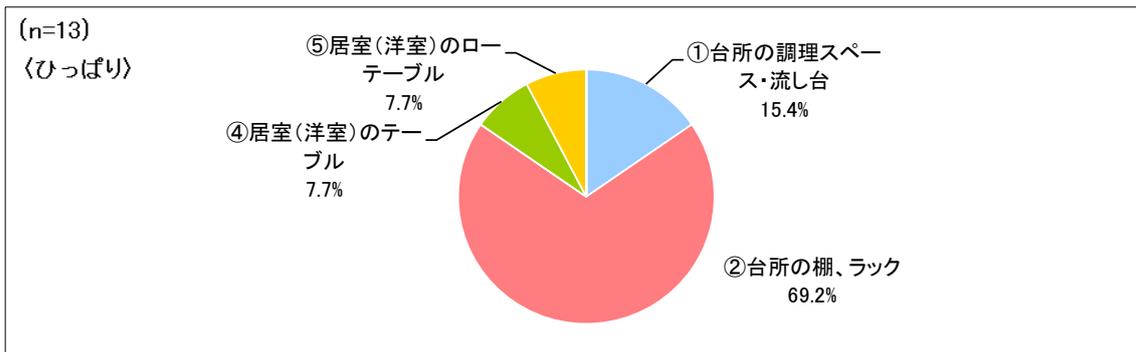
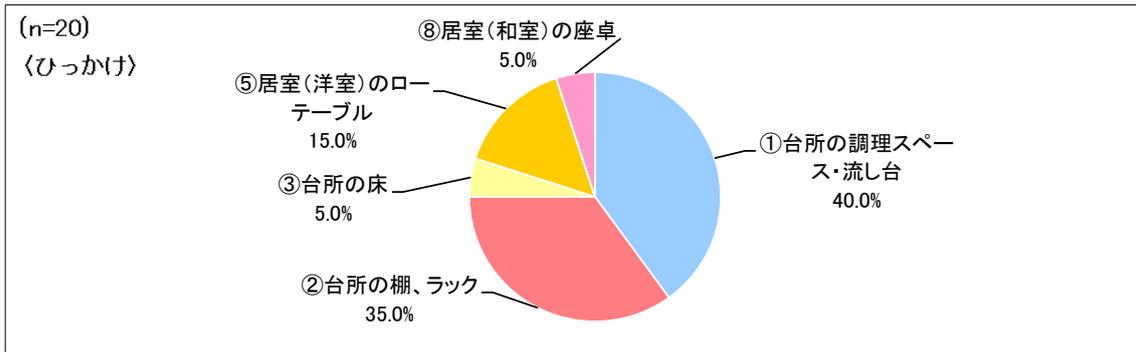


図 53 「ひっかけ」「ひっぱり」の際の自宅での置き場所の割合(単数回答)

危害経験のうち、状況の記述に詳しい記載があったものを以下に記す。

【「ひっかけ」「ひっぱり」による危害経験の概要(抜粋)】

- 子供がハイハイをしているとき、私がうっかり目を離した際に、お湯を出してしまい、右の足が5センチくらい水ぶくれになってしまった
(0歳9か月、病院、自宅、台所の床、電動、2.0~3.0L、半分)
- コードを足にひっかけてポットを倒した。
(0歳11か月、病院、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動、2.0~3.0L、(ほぼ)満タン)
- 電気コードに足をひっかけて電気ポットを倒した。
(2歳、病院、自宅、洋室のローテーブル、電動、4.0L以上、(ほぼ)満タン)
- 足を電源コードにひっかけて、ポットを倒してしまった。
(2歳、病院、自宅、台所の棚・ラック、電動、2.0~3.0L、(ほぼ)満タン)
- コードに足が引っかかりポットを倒した
(4歳、病院、旅館やホテル、和室の床、エア、3.0~4.0L、ほぼ空)

(4) 衝突して転倒した（しそようになった）経験：「衝突して転倒」

衝突による「危害」「ヒヤリ・ハット」経験は 18 件あり、比較的少ないものの、入院に至る経験が含まれている（図 47）。また、0 歳児による経験が多く発生しているのも特徴である（図 27）。

自宅で衝突による「危害」「ヒヤリ・ハット」経験 12 件のうち、11 件（91.2%）が「台所の調理スペース・流し台（4 件（33.3%）」「台所の棚・ラック（6 件（50.0%）」「台所の床（1 件（8.3%）」と台所で起こっている（図 55）。

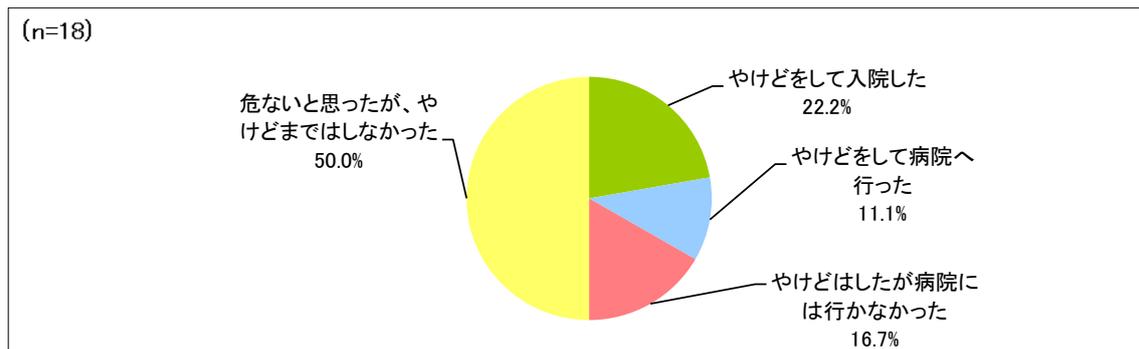


図 54 「衝突して転倒」での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の割合 (単数回答)

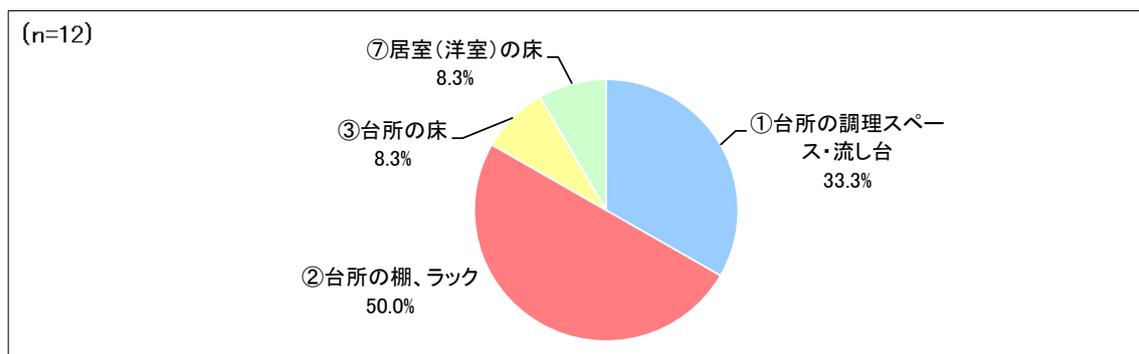


図 55 「衝突して転倒」の際の自宅での置き場所の割合 (単数回答)

危害のあった経験のうち、状況の記述に詳しい記載があったものを以下に記す。

【「衝突」による危害経験の概要(抜粋)】

- 置いた場所が同じ高さだった
(1 歳 0 か月、入院、祖父母・親戚の家、洋室のテーブル、電動、2.0~3.0L、(ほぼ)満タン)
- 自宅でポットをひっくり返してしまった
(1 歳 6 か月、病院、自宅、台所の棚・ラック、エアー、1.0L未滿、半分)
- 電気ポットによろけてぶつかり、中身が出てきた
(3 歳、入院、自宅、台所の棚・ラック、電動、3.0~4.0L、(ほぼ)満タン)

(5) つかまったり触ったりして転倒した（しそうになった）経験：「つかまったりして転倒」

つかまったり触ったりすることによる「危害」「ヒヤリ・ハット」経験は12件ある。「危害」の経験も4件（33.3%）と比較的少ないものの、電気ポットが転倒した際に蓋が開いてお湯がこぼれた経験がみられる。

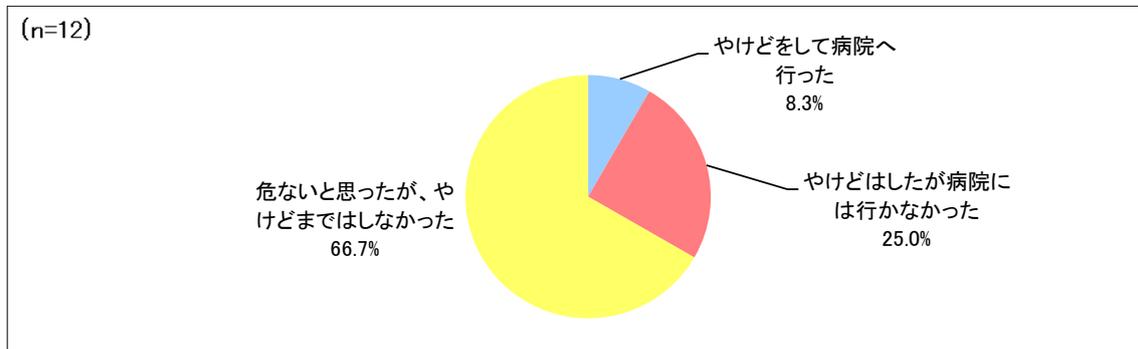


図 56 「つかまったりして転倒」での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の割合 (単数回答)

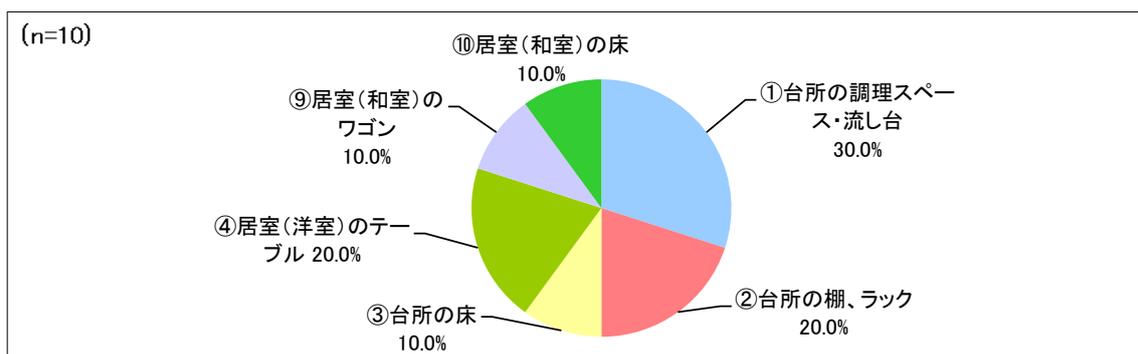


図 57 「つかまったりして転倒」の際の自宅での置き場所の割合 (単数回答)

「危害」「ヒヤリ・ハット」経験のうち、「湯がこぼれた」状況の記述に詳しい記載があったものを以下に記す。

【「つかまったりして転倒」により湯がこぼれた経験の概要(抜粋)】

- 夜の夕飯の支度の時にポットを触ってお湯がこぼれた
(1歳9か月、病院、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動、1.0～2.0L、半分)
- 旅館で、子供から目を離していた時、急に泣いたので様子を見に行ったら、電気ポットが倒れていてお湯が漏れていた。子供の靴下が濡れていたのですぐに脱がせたが、足の裏が少し赤くなっている、その後水ぶくれが出来ていたが、幸い大事には至らなかった。
(1歳4か月、やけど、旅館やホテル、和室の床、電動、2.0～3.0L、(ほぼ)満タン)
- 子供が自分であそんでいるとき、電気ポットのお湯を出してしまった。すぐに手だったので、大きなやけどにはならなかった

(3歳、やけど、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動、4.0L以上、(ほぼ)満タン)

- 台所で子供がそばでいじって倒れてやけど
(7歳、やけど、自宅、台所の床、電動、1.0~2.0L、(ほぼ)満タン)
- 夕方、台所にて子供が電気ポットに掴まり立ちをして倒れた。蓋が空いてお湯が溢れたが、大事には至らなかった。
(1歳2か月、ヒヤリ、自宅、台所の棚・ラック、電動、2.0~3.0L、半分)
- 客間の和室においたポットに子供が触れて転倒し、ふたがあいてしまい、お湯がこぼれてしまった。子供の場所とは反対側に倒れたので、やけどをせずすみません。必ずそばに付き添い注意していましたが、一瞬の隙に起こってしまいました。
(1歳4か月、ヒヤリ、自宅、和室の床、電動、1.0~2.0L、半分)

(6) 台所での「危害」「ヒヤリ・ハット」経験について

全体を通し、「台所の調理スペース・流し台」、「台所の棚・ラック」での経験も多く見受けられる。台所での経験で詳細の記述があるものを抜粋したのが以下である。

なお、6歳以上の「危害」「ヒヤリ・ハット」経験は、全体で9件あったが、このほとんど(7件)が台所で起こっていた。

【親が台所で調理や調乳をするときに、そばに子供がいた事例】

- 粉ミルクをつくるときに、ポットにあまりお湯がなくて、予想以上に飛び散って、子供にかかってしまった(1歳5か月)
- 夜の夕飯の支度の時にポットを触ってお湯がこぼれた。(1歳9か月)
- お湯を沸かした後、蓋を取って新たに水を足している最中に蓋に手を伸ばした(2歳)
- キッチンスペースの上に座らせていた時、一瞬目を離したら解除ボタンを押して、給湯ボタンを押して、持っていた容器にお湯を入れようとしていた。操作の方法は知っており、いつも一緒にやっていたのだが、この時は自分でやろうとした。容器に入れようとしたお湯がこぼれてしまい、キッチンスペースに広がった。やけどはしなかったが、危なかった。(2歳)
- 夕食を作っているときに近くに来てお湯を沸かしているときに湯気を触ろうとした。(3歳)

【(親が台所にいないときに)子供が好奇心から、行動を起こした事例】

- 何にでも興味が出てお母さんのいつもいる場所や食べ物がある場所に興味を持ったため(1歳10か月)
- 台所の棚に置いてある電気ポットは手が届かない高さにあるが、子供が踏み台を持ってきて電気ポットのボタンを押そうとしている所を発見した。お湯が出たり倒れたりしなくてホッとした。(2歳)
- 自分でお茶を入れようとしたが、危ないので慌てて止めた。お湯も蒸気も出なかった

ので、やけどやケガはしていない。(4歳)

【6歳以上の事例】

- お手伝いしたいために、お湯を勝手に入れそうになったが、ロックがかかっていた。(6歳)
- 自分が麦茶を作ろうとしたときに、お湯が飛び散って子供にかかった(6歳)
- 子供が自分で給湯し手にかかりそうになった(7歳)
- 台所で子供が何かを取りに来た時に何かに引っかかったようでポットが転倒した。お湯は半分ぐらいこぼれた。(7歳)
- カップ麺にお湯を入れる際にこぼしそうになった。(9歳)

5 商品に関わる原因・要因の分析

やけど事故防止のための、電気ポットの安全対策機能に関わる経験を整理した。これは詳しい記述のあった回答に限定されているので、件数の多寡についての分析は難しいことに留意が必要である。

(1) マグネットプラグ

コードを、ひっかけてまたはひっぱって転倒した(しそうになった)ものは、周囲の者による転倒も含み、合計で40件あった。

このうち、実際に転倒に及んだものが、少なくとも25件あったが、それ以外に「お湯は入っていないがコンセントが抜けた(1歳9か月)」「台所に入りコードがたまたま目に入りひっぱりぬけたので大事にならなかったが、ポットは少し傾き私が抑えた(1歳10か月)」など、マグネットプラグがはずれ、転倒に至らなかったものもあった。

(2) 転倒流水

「危害」「ヒヤリ・ハット」経験の206件のうち、実際に転倒したとわかるものは52件あった。これらについて、流水の有無を確認したが、電気ポットの給湯方式や容量、使用年数の傾向はなかった(大量に流水した2件の経験のポットの使用年数は、ともに1年以上3年未満であった)。

流水した量についての記述があったものは、下記のとおりであった。

【大量に流水した事例】

- 子供が電気ポットに手をかけて、倒してしまい、1リットルくらいのお湯がこぼれた(1歳8か月、ヒヤリ・ハット、(ほぼ)満タン)
- 台所で子供が何かを取りに来た時に何かに引っかかったようでポットが転倒した。お湯は半分ぐらいこぼれた。(7歳、やけど、(ほぼ)満タン)

【少量ですんだ事例】

- 昼間台所で、電気ポットから 100ml 程度お湯がこぼれた。蓋は閉まっていた、ロックはかかっていた、子供が倒した。
(0歳6か月、ヒヤリ・ハット、(ほぼ)満タン)
- 長女が 11 か月の時に和室のちゃぶ台の上に置いてあったポットの線で遊び始めました。危ないなあと思いながらテレビに目を奪われた瞬間、ガシャーんと音がしてポットが倒れてしまいました。子供は倒れた音で大泣きしていました。幸い少ししかお湯もこぼれずやけどをせずにすみしました。子供の手が届く所に置いてはいけないと再確認。それからは手が届かない場所に置いて使用しています。
(0歳11か月、ヒヤリ・ハット、(ほぼ)満タン)
- 旅館で、子供から目を離していた時、急に泣いたので様子を見に行ったら、電気ポットが倒れていてお湯が漏れていた。子供の靴下が濡れていたのですがすぐに脱がせたが、足の裏が少し赤くなっていて、その後水ぶくれが出来ていたが、幸い大事には至らなかった。
(1歳4か月、やけど、(ほぼ)満タン)
- コードにひっかかってふたが少しあいて、ちょろちょろとお湯がこぼれました。
(3歳、やけど、半分)

(3) ロック解除ボタン

ロックに関する記述があるものは、206 件のうち 12 件あり、すべて自宅での経験であった。最も年齢の低い事例は、1歳2か月であった。また、給湯方式は1つを除き、すべて電動（または兼用）であった。

【ロックがかかる前にボタンを押した事例】

- 電気ポットのロックがかかる前に、給湯ボタンを押して、お湯が子供の胸元に溢れた。発見が早く、対処できた。
(2歳、自宅、台所の棚・ラック、電動)

【ロックを解除した事例】

- 台所の調理場と背中合わせに電気ポットが置いてある棚があり、私（母親）が料理をしている最中に後ろで電気ポットのボタンをいじり始め、たまたまロック解除後に給湯ボタンを押しお湯が出てしまい、子供本人もとても驚いた様子でした。幸いやけどはなかったなので、安心しました。
(1歳2か月、自宅、台所の棚・ラック、電動)
- ロックを解除していた
(1歳5か月、自宅、台所の棚・ラック、電動)
- スイッチのロック機能があったので、ボタンに興味を持つ、1歳10か月ぐらいに、お

湯の解除を長押ししてしまい押しすぎてしまいお湯が出た。

(1歳10か月、自宅、洋室のテーブル、電動)

- 子供が踏み台を持ってきて上に乗り、ポットのロック解除をしてしまい、お湯を出して指をやけどしました。泣いたのですぐ氷水で冷やし、病院に行きました。

(2歳、自宅、台所の棚・ラック、エアー)

- キッチンスペースの上に座らせていた時、一瞬目を離したら解除ボタンを押して、給湯ボタンを押して、持っていた容器にお湯を入れようとしていた。操作の方法は知っており、いつも一緒にやっていたのだが、この時は自分でやろうとした。容器に入れようとしたお湯がこぼれてしまい、キッチンスペースに広がった。やけどはしなかったが、危なかった。

(2歳、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動)

【ロックが機能した事例】

- 私が夕食の準備中にポットからお湯を出しているのを見て、真似をしてお湯を出そうとした。ロックがすぐ掛かったため、お湯は出なかったが、覚えてしまったら遊んでしまうため、危ないと思った。

(1歳2か月、自宅、台所の棚・ラック、電動・エアー兼用)

- カウンター式の台所で、子供がカウンターからよじ登り、ポットに触っていたがロックがかかっていたので、大事には至らなかった

(1歳7か月、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動)

- 踏み台に登る事を覚えて、自分の踏み台を持ち歩いており、台所のポットのある棚の前に踏み台を持ってきた。踏み台に登り、ポットの給湯ボタンに手を伸ばしたが安全ロックがかかっていたため、お湯は出なかった。

(1歳8か月、自宅、台所の棚・ラック、電動)

- ロックがかかっていたから出ず、たすかった

(2歳、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動)

- お手伝いしたいために、お湯を勝手に入れそうになったが、ロックがかかっていた。

(6歳、自宅、台所の調理スペース・流し台、電動)